

エコアクション21 環境経営レポート



第55期
(2021年10月～2022年9月)

発行日 2022年10月29日
株式会社 カンサイ

ご挨拶	2
01. 会社概要・沿革等	3
02. 環境方針等	4
03. 推進体制並びに責任と権限	
(1) 推進体制	5
(2) 責任と権限	5
04. カンサイにおけるSDGs	6
05. 環境負荷の実績と考察50期～54期	
(1) 実績	7
(2) 考察	8
06. 55期の環境活動計画と中期目標	
(1) 55期の環境活動計画	9
(2) 中期環境目標	10
07. 55期各部署取り組みと実績・評価(環境負荷低減)	11～22
08. 55期各部署取り組みと実績・評価(環境改善)	23～25
09. 55期各部署取り組み(コミュニケーション)	26～27
10. 55期の取り組み(教育)	28～31
11. 55期の取り組み(安全衛生)	32～33
12. 情報公開	34～42
13. リサイクル製品	43
14. 56期の活動計画	44
15. 第三者意見	45
16. 代表者による全体評価と見直しの結果	46
17. 編集後記	46

原点

株式会社カンサイは、1968年の創業以来「人と人との調和 人と自然との調和を大切に」という考えのもと、廃棄物処理業・リサイクル業を追求してきました。

また、2013年4月、企業理念として、

全従業員の物心両面の幸せを追求するとともに、
併せて人類と自然との調和を大切にする

を制定しました。これは株式会社カンサイの企業活動の原点であり、判断や行動の拠り所になるものです。目先の利益にとらわれるのではなく、全社員が人として何が正しいのかを基準に考え行動し続けることにより、安心・安全なサービスを提供できると考えています。

創意工夫

株式会社カンサイは、「廃棄物処理」を起点に事業を拡大してきました。また自然環境の保全、資源の有効利用を推進する循環型社会基本法、個別物品に応じたリサイクル関連法が制定されました。さらに最近は脱炭素化に向けた動きもさかんです。そうした社会背景から、当社に廃棄物処理をご依頼くださるお客様のニーズも多様化しています。車両の更新、廃棄物処理施設・リサイクル施設の高度化は元より、ニーズにお応えするための技術革新、そして進化をもたらす人材育成に努め、社会からの期待に応え、さらなる成長をめざしていきます。

調和

株式会社カンサイは、「人・社会・環境」との調和を図ることで、社会から存在意義を認めていただける企業であり続けたいと考えています。工場見学者の受入、情報開示、地域交流や協賛を長期に渡って取り組んでまいりました。

また、社会貢献活動の一環として、平成17年に循環型農園「きなり村」を開設いたしました。食に対する関心が高まっている中、当社のリサイクル製品である肥料を使用し、化学肥料や農薬を使用しない有機農法によって作物を栽培し、都市部へ循環させるという取り組みを行っています。

これからも「人と自然との調和を大切に」し、社会との共生を図り、「環境創造総合企業」として社会の持続的発展に貢献し続けたいと考えています。

株式会社 カンサイ
代表取締役

川本 義二



会社概要

会社概要

会 社 名	株式会社カンサイ
所 在 地	広島県広島市佐伯区五日市町大字石内460番地 TEL：(082) 941-1641 FAX：(082) 941-1715
代 表 者	代表取締役 川本 義二
環境管理責任者	環境事業部部长 北川 貴伸
従 業 員 数	42名
敷 地 面 積	13,838m ²
資 本 金	18.4百万円
中間処理量	第55期 12,691 t
収集運搬量	第55期 5,419 t
売 上 高	第55期 856百万円
U R L	https://ekansai.co.jp
事 業 内 容	一般廃棄物、産業廃棄物収集運搬処理 建設土木工事 リサイクル業 環境衛生プラントのメンテナンス 環境計量証明事業 肥料製造業 上下水道の調査



沿革

1968年2月
関西特殊産業として産業廃棄物処理を目的に設立
1972年9月
産業廃棄物の収集運搬処理の許可を取得
1979年7月
ロータリーキルン式焼却炉を設置
1979年10月
污泥肥料生産 肥料生産販売業届出
1982年4月
環境計量室を新設
1985年12月
倉橋工場を新設 肥料の生産

1991年10月
回転炉床式焼却炉を設置
1998年10月
株式会社カンサイに社名変更
2010年2月
エコアクション21認証取得
2014年7月
広島県特別管理廃棄物収集運搬業許可の優良認定
2014年10月
川本義二社長就任
2015年10月
回転炉床式焼却炉にバグフィルターの設置

社 是

人と人との調和
人と自然との調和を大切に

企業理念

全従業員の物心両面の幸せを追求するとともに
併せて人類と自然（全人類 大自然）との調和を大切にする

環境方針

「人と自然との調和を大切に」

私たちは、人と自然との調和を大切にし、地域社会と利害関係者とのふれ合いを図り、技術と知恵と勇気を持って環境問題に積極的に取り組み、広く社会に貢献できる企業を目指します。

行動指針

私たちは省エネ・省資源をはじめ、地球環境の保全と、資源の有効利用に弛まない努力と創意工夫を行い地域社会の一員として健全なる社会の発展に貢献いたします。

基本方針

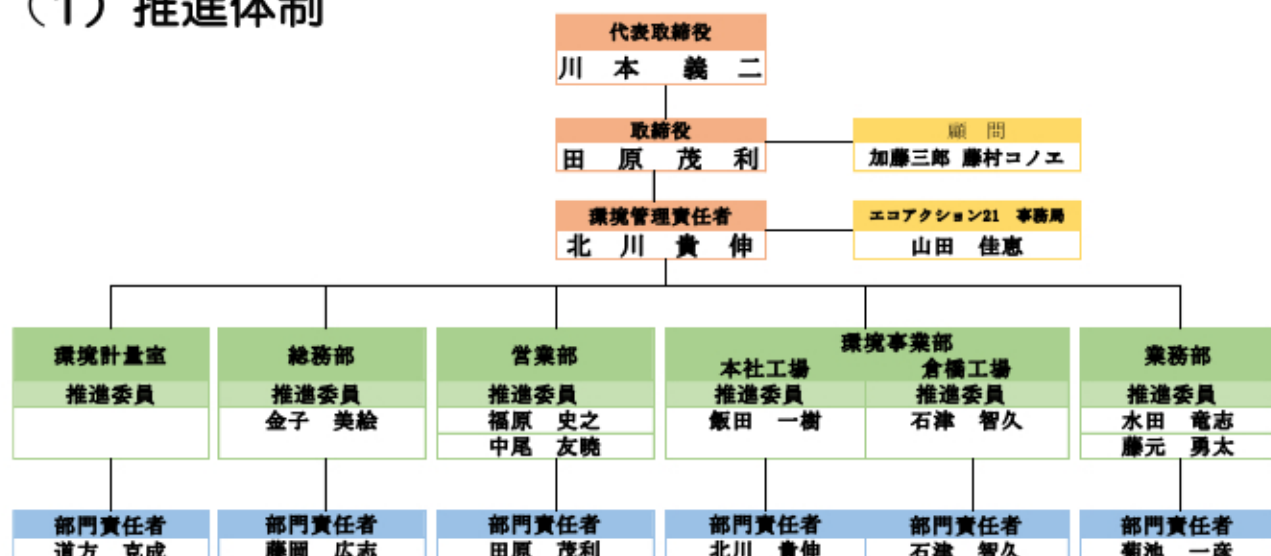
1. 資源の節約と再利用を促進し、環境と資源の保全に努めます。
 - CO₂排出量の低減や森林資源の保護、バイオマス利活用によるCO₂吸収、エネルギーの有効活用等に寄与します。
 - 廃棄物の削減、資源化率の向上を推進いたします。
 - 資源循環の技術開発を積極的に推進いたします。
2. 事業に関連する全ての法律を遵守します。
3. 環境マネジメントシステムの効率的な運用を行い、環境負荷の低減に努めます。
4. 情報はホームページ、電子掲示板、ポスター等により、全ての関係者に広く公開いたします。

制定 2009年10月1日
改訂 2014年 3月1日

株式会社 カンサイ

代表取締役 川本 義二

(1) 推進体制



当社はエコアクション21推進委員会を中心とした体制で、環境対応に取り組んでいます。

(2) 責任と権限

責任及び権限	
統括 (代表取締役)	①環境方針の策定と全従業員への周知 ②環境管理責任者の任命 ③運用に必要な人材、設備、時間の準備 ④全体の取り組み状況の評価、見直し
環境管理責任者	①環境活動の取り組み結果を代表者へ報告 ②環境力道場の開催
エコアクション21 推進責任者	①エコアクション21事務局の総括 ②一般教育の計画、実施 ③環境力道場の運営
エコアクション21 事務局	①環境データの集計、取りまとめ ②環境関連文書及び記録の管理 ③外部からの環境に関する苦情、要望の受付及び対応
推進委員	①各部門における環境活動の管理 ②環境活動の実績の把握と事務局への報告
部門責任者	①自部門の環境活動の責任 ②実務教育・訓練（専門教育）の計画、実施
全従業員	①環境方針の理解と環境への取り組みの重要性を自覚 ②決められたことを守り、自主的、積極的に環境活動へ参加



SDGs (Sustainable Development Goals) とはほとんど全ての国連加盟国が2016年から2030年の15年間で達成するために掲げた17項目の持続可能な開発目標です。SDGsは先進国と途上国が一丸となって達成すべき目標で構成されていることが特徴です。

カンサイは、産業廃棄物の処理とリサイクルを担ってきたことで、持続可能な開発に長年貢献をしてきました。これからも様々な活動を通じてSDGsに取り組んでいきます。

	SDGs目標	カンサイの取り組みと掲載ページ
	質の高い教育をみんなに	環境力道場で知識を知恵に変え実働にいかすなど各種の研修を通して、会社の宝である社員の意識向上を図る・・・P 28,29,P30
	ジェンダー平等を実現しよう	全社員がセクハラ・パワハラの研修を受け撲滅に努めている・・・P 30
	安全な水とトイレを世界中に	自社工場で使用する水の節水に努める他自治体の上下水処理場清掃での水資源管理に貢献・・・P 13,14,24
	働きがいも経済成長も	社内報や家族会開催で家族的経営を目指す・・・P26,P 27
	住み続けられるまちづくりを	清掃活動を通して地域貢献・・・P 26
	つくる責任 つかう責任	リサイクル肥料製造と販売で環境にやさしい肥料の提供 グリーン購入で環境配慮商品の購入管理・・・P 19,43
	気候変動に具体的な対策を	化石燃料使用量を削減しCO ₂ 排出量を抑制する・・・P 11,12,14～19
	陸の豊かさを守ろう	安心安全な生活環境を環境分析で支援する・・・P 25

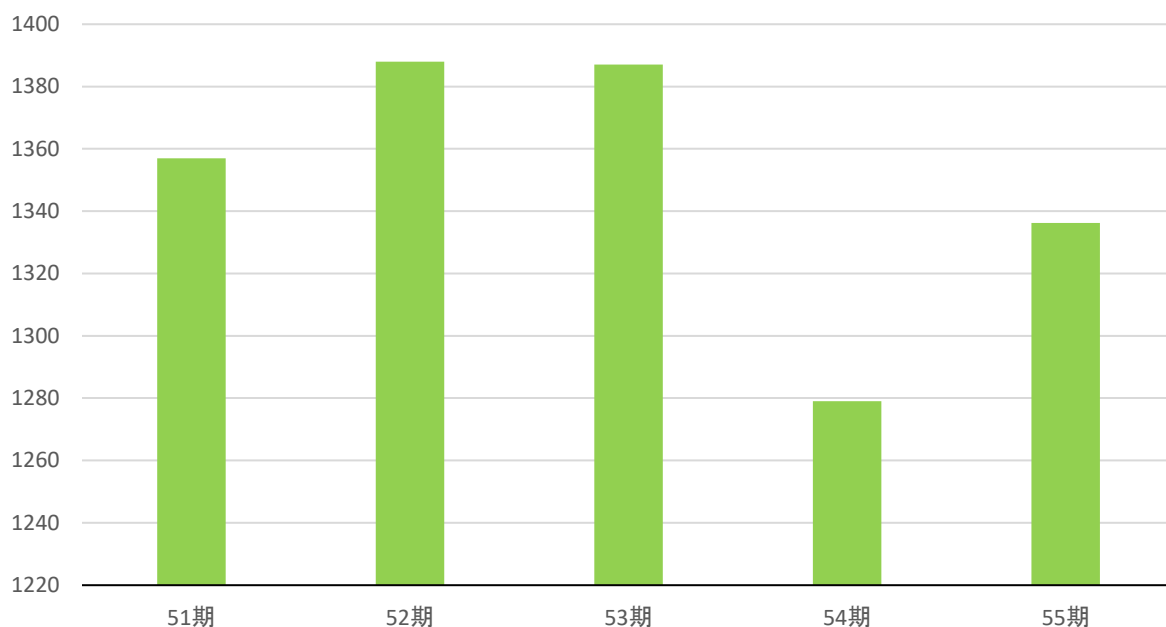
(1) 実績

		単位	51期	52期	53期	54期	55期	排出係数	単位	55期CO ₂ 排出量
二酸化炭素等総排出量	電力 (本社工場・倉橋工場)	kWh	729,526	692,673	641,849	643,179	801,597	* 0.585	t-CO ₂	469
		前年対比%	1%↓	5%↓	7%↓	0.2%↑	24.6%↑			
	電力 (事務所・休憩所)	kWh	94,604	84,290	83,586	82,757	87,897	* 0.694	t-CO ₂	52
		前年対比%	15%↑	11%↓	1%↓	1%↓	6.2%↑			
	灯油	ℓ	-	200	90	-	-	0.0679	t-CO ₂	0.0
		前年対比%	-	-	55%↓	-	-			
	A重油	ℓ	131,705	153,665	172,522	167,183	163,953	0.0693	t-CO ₂	444
		前年対比%	4%↓	17%↑	12%↑	3%↓	1.9%↓			
	LPG	kg	692	344	254	332	222	0.0598	t-CO ₂	1.0
		前年対比%	4%↑	50%↑	26%↓	30%↑	33.1%↓			
	ガソリン	ℓ	11,720	12,327	11,976	9,942	10,191	0.0671	t-CO ₂	24
		前年対比%	1%↓	5%↑	2%↓	17%↓	2.5%↑			
	軽油	ℓ	151,770	153,699	147,806	140,178	130,821	0.0687	t-CO ₂	343
		前年対比%	3%↑	1%↑	4%↓	5%↓	6.7%↓			
	建設業	kg-CO ₂		7,479	10,361	9,000	3,178		t-CO ₂	3.2
		前年対比%			39%↑	13%↓	64.7%↓			
合計		t-CO ₂	1,357	1,388	1,387	1,279	1,336.2		t-CO ₂	1,336.2
		前年対比%	2.4%↓	2%↑	0.1%↓	8%↓	4.5%↑		前年対比%	4.5%↑
	総排水量 (事務所・倉橋工場)	m ³	1,378	1,200	981	934	903		m ³	903
		前年対比%	6%↓	13%↓	18%↓	5%↓	3.3%↓		前年対比%	3.3%↓
	廃棄物排出量	t	5,697	5,116	5,077	4,756	4,921		t	4,921
		前年対比%	6%↑	10%↓	0.8%↓	6%↓	3.5%↑		前年対比%	3.5%↑
化学物質使用量	セメント使用量 (本社工場)	t	1,950	2,000	1,737	1,180	1,384		t	1,384
		前年対比%	15%↑	3%↑	13%↓	32%↓	17.3%↑		前年対比%	17.3%↑
	苛性ソーダ使用量 (本社工場)	ℓ	99,000	91,000	80,000	88,000	-		ℓ	-
		前年対比%	1%↑	8%↓	12%↓	10%↑	-		前年対比%	-
	PAC使用量 (本社工場)	ℓ	2,500	2,500	2,400	900	360		ℓ	901
		前年対比%	25%↑	増減なし	4%↓	63%↓	60%↓		前年対比%	0.1%↑

※二酸化炭素排出量は、エネルギー種類ごとに消費量×二酸化炭素排出係数×単位発熱量を掛け合わせた数字です。この表では各期の消費量の実績と55期二酸化炭素排出量を掲載しています。

※環境省2014年公表電力事業社別CO₂排出係数は、中国電力0.719kg-CO₂/kWhですが、前年との比較と経過観察のため、51期～53期は排出係数（中国電力0.694kg-CO₂/kWh）を使用しています。

※54期～56期は、最新排出係数（中国電力0.585kg-CO₂/kWh）を使用します。

二酸化炭素総排出量 t-CO₂

(2) 考察

CO₂総排出量は、前期より57.2 t-CO₂増加しました。本社工場の排出量が下記の理由により前期より84.7 t-CO₂増加したことが、組織全体の排出量増加の大きな要因でした。

本社工場は、回転炉床式焼却炉改修工事後の設備不具合等によって、A重油使用量が、一時的に大幅な増加となりましたが、設備不具合が解消された後はA重油使用量も前期なみに推移してきています。また、追加設備により、電力使用量が47,927 kWh増加しました。今後は、使用設備のこまめなメンテナンスや使用していない設備のブレーカーは落とすなど地道な節電に努めていきます。その一方で水の使用量は5,904m³の削減ができました。また、自社の取り組みだけに目を向けるのではなく、セメントの種類を変更して製造過程でのCO₂削減に貢献しました。

倉橋工場は、発酵設備改修と過剰在庫の整理が一段落して電力使用量も軽油使用量も削減ができています。今後も発酵状況に見合った設備稼働の検証をして削減をしていきます。

業務部は、年度初めの2か月に仕事量が激減したことで車両稼働が少なく燃料使用量が減少したことでCO₂の削減につながりました。今後も仕事量に左右されますが、アイドリングストップなど地道な取り組みを継続していきます。

営業部は、県外の営業活動に力をいれたことで、燃料使用量が増加しCO₂増加しましたが、今後は、効率の良いスケジュール管理を行っていきます。

本社事務所は、コロナ対策の換気のために室内温度を保つことがままならないこともありましたが、こまめな節電が浸透し増加量を最小限に抑えられました。また、仕事内容を見直しムダな残業を減らし、環境にも社員にもやさしい職場づくりに努めていきます。

エネルギー問題は、深刻な状況になってきています。安定的に、また環境負荷の少ないエネルギー調達に努めて、今後も大きな視点で物事を捉えたとともに、地道な活動を継続していきたいと思います。

(1) 55期の環境活動計画

※55期は、全社員の成長に重点を置いた取り組みを実施します。まず、新年には「人間力の向上」をテーマに抱負を掲げ進捗状況を確認（年3回）して、各自の成長に向けた取り組みをしていきます。

※55期も引き続き、オンラインで環境力道場を開催して、これまでの取り組みの検証と、全社員のレベルアップと共通認識を図ることに重点を置いた社員教育に取り組みます。

※セクハラ・パワハラの撲滅に取り組みます。

	目標	活動内容	実施時期	該当部門
重点取組	個人の成長（人間力の向上）	年間目標を掲げPDCAを繰り返す	通年	全社員
		カンサイ理念手帳を浸透させる		
	ハラスメントの撲滅	相談窓口の運用	通年	全社員

環 境	(1) 回転炉床・ロータリーキルンの重油使用量の削減 回転炉床電力使用量の削減	管理体制の強化、随時改善する	通年	本社工場
		プラント運転管理者の技術の向上		
	(2) 業務車両・建設工事のガソリン・軽油使用量の削減	ドライブレコーダーの運用	通年	業務部
	(3) 営業車両のガソリン使用量の削減	管理体制の強化	通年	営業部
	(4) 重機の軽油使用量の削減 電力使用量の削減	エコ運転の教育・徹底	通年	倉橋工場
		点検マニュアルの改善		
	管理体制の強化			
(5) 事務所電力使用量の削減	こまめな節電	通年	総務部	
(6) 燃え殻・汚泥・肥料・排水維持管理	分析及び各部署への伝達	通年	環境計量室	
(7) グリーン購入率の向上	エコ商品購入品の推奨と管理	通年	総務部	
環 境 改 善	(1) ムリ・ムダ・ムラの排除	仕事内容の精査と見直し	通年	全社員
	(2) 場内全域の環境対策	受入れ設備の改良・飛散防止対策	通年	本社工場
	(3) 施設の改善	設備更新の実施	通年	本社工場
		作業環境と効率アップの設備配置の検討		倉橋工場
	(4) 在庫管理の強化	搬入物の管理による処理計画と実施	通年	本社工場 倉橋工場
	(5) 各環境測定の実施	ダイオキシン測定ほか	通年	本社工場
(6) 交通事故防止	事故事例の再検証と啓発活動	通年	業務部	
コミュニケーション	(1) ステークホルダーからの要望への対応	お客様の要望・意見・提案を回覧と共有	通年	全部署
	(2) 社員とのつながり	毎月誕生月の人をお祝いする	通年	総務部
		永年勤続者の表彰		
	(3) 家族とのつながり	社内報の内容を充実させる	年2回	営業部
		家族見学会の企画・実施	6月	総務部
	(4) ステークホルダーとのつながりの拡充	地域清掃活動への参加	通年	営業部
	(5) 見学者の受け入れ拡充	部署間での事前協議	通年	営業部
(6) 福利厚生者の拡充	社内サークルの運営	通年	実行委員	
(7) 積極的な情報公開	ホームページの充実	通年	総務部	
教 育	(1) 自社活動内容の理解度向上	年1回全体教育の実施	5月	EA21事務局
	(2) 資格取得へのチャレンジ	リストアップと計画取得	通年	全部署
	(3) 知識の向上	随時各講習会、講義の参加	通年	全部署
	(4) 緊急事態（自然災害）への対応	自然災害へのリスク調査（中期計画） 火災訓練等の実施	通年	全部署
安全衛生	(1) 1年間無事故無災害	指差し確認の徹底と啓発	通年	本社工場
				倉橋工場
	(2) 交通事故の防止	事故事例の再検証	通年	業務部
	(3) 飲酒運転禁止	アルコールチェッカーの運用（基準値0mg）	通年	業務部
	(4) 5S活動の推進 （整理・整頓・清掃・清潔・躰）	一仕事一片付けの推進	通年	全部署
毎週金曜日の清掃活動				
(5) 安全衛生協議	月次報告会の運用	月/1回	EA21事務局	
情 報 公 開	(1) 廃棄物処理法の遵守	収集運搬業、処分業の許可更新	通年	全部署
	(2) 関連法規の遵守	関連書類の提出と保管	通年	全部署
	(3) 環境経営レポートの発行	10月中に54期版を発行	9～10月	EA21推進メンバー

作成日 2021年9月17日

取り組み事項		55期 (2021年10月～ 2022年9月)	56期 (2022年10月～ 2023年9月)	57期 (2023年10月～ 2024年9月)
全体	CO ₂ 総排出量 (基準年50期～52期平均)	1,337.4	1,324.0	1,311.0
	CO ₂ 排出量の削減 (基準年50期～52期平均)	0.11%削減	0.1%削減	0.11%削減
本社工場	回転炉床A重油使用CO ₂ の削減(t-CO ₂)	197.2	197.2	197.2
	回転炉床A重油使用量の削減(ℓ)	72,777	72,777	72,777
	ロータリーキルンA重油使用CO ₂ の削減(t-CO ₂)	184.6	184.6	184.6
	ロータリーキルンA重油使用量の削減(ℓ)	68,139	68,139	68,139
	回転炉床電力使用CO ₂ の削減(t-CO ₂)	238.7	238.7	238.7
	回転炉床電力使用量の削減(kWh)	343,930	343,930	343,930
業務部	業務車両CO ₂ 排出量の削減(t-CO ₂)	251.7	246.7	244.2
営業部	営業車両CO ₂ 排出量の削減(t-CO ₂)	20.1	19.9	19.3
	営業車両ガソリン使用量の削減(ℓ)	8,658	8,577	8,319
事務所	電力使用CO ₂ 排出量の削減(t-CO ₂)	38.1	37.7	31.5
	電力使用量の削減(kWh)	54,899	54,322	53,779
倉橋工場	倉橋工場軽油使用のCO ₂ 排出量の削減(t-CO ₂)	74.5	73.8	73.1
	倉橋工場軽油使用量の削減(ℓ)	28,388	28,140	27,901
	倉橋工場電力使用CO ₂ 排出量の削減(t-CO ₂)	123.4	122.2	102.0
	倉橋工場電力使用量の削減(kWh)	177,810	176,081	174,320
本社工場	化学物質(セメント)使用量の削減(t)	1,842	1,824	1,824
	化学物質(苛性ソーダ)使用量の削減(ℓ)	80,000	72,000	64,800
	化学物質(PAC)使用量の削減(ℓ)	1,000	1,000	1,000
本社工場	水使用量の削減(m ³)	24,699	24,452	24,207
倉橋工場	水使用量の削減(m ³)	292	289	286
業務部	エネルギー使用量の削減(kg-CO ₂)	8947	8856	8767
	廃棄物のリサイクル	全量	全量	全量

※本社工場・業務部・営業部は目標達成が3年連続で未達成ですので見直しを行いました。基準年を50期から52期の過去3年の平均値を基に見直しをして選定しています。

※本社工場の目標はこれ以上のCO₂排出量を増やさないことを目標に努めていきます。

※倉橋工場・事務所の取り組みは、52期中期計画を基に選定しています。

※建設工事の目標は52期～54期の平均値を基に選定しています。

※55期以降の電力CO₂削減目標値は、排出係数0.585kg-CO₂/kWhを使用しています。(中国電力公表値)

※3年ごとに最新の電力排出係数の見直しをしていきます。

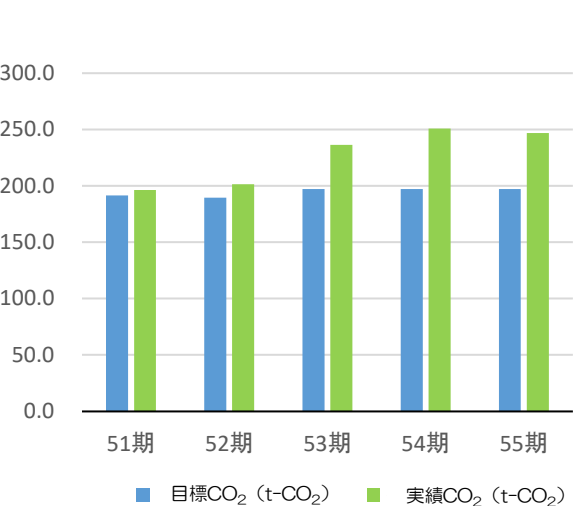
※目標に対する実績が未達成の場合、その実績を基に見直しを検討します。

※化学物質使用量目標値は49期～52期の平均値を元に算出しています。

※全体CO₂排出量は取り組み事項以外の企業活動全体を含みますので、数値は一致しません。

(1) 本社工場の取り組み

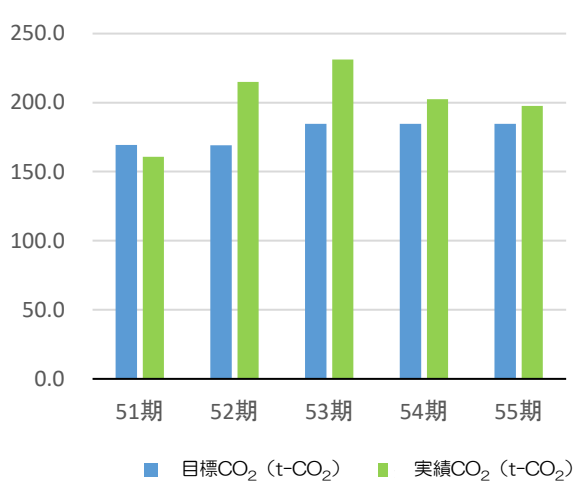
回転炉床 A重油使用量



- 【取り組み】
- 毎日の使用量を記録して、月末に進捗状況の見直しを行いました。
 - 焼却炉の改修工事を行いました。
 - 廃棄物を破砕する際に、燃焼効率を考え、カロリーが均一になるように選別し破砕することに努めました。
- 【実績・評価】
- 目標197.2 t-CO₂に対して実績246.7 t-CO₂と目標達成に至りませんでした。
 - 改修工事後のトラブルで稼働ロスが生じ使用量が増加したことが要因です。
 - A重油流量メータを更新して、各自管理担当時の、使用量が把握できるようにしました。
- 【今後】
- 月末にしている進捗状況の見直しを毎週へと頻度を増やしてこまめに是正をします。
 - 焼却炉改修トラブルが落ち着き、期末3か月平均使用量もかなり削減できていますので、引き続き稼働ロスが生じないように運転・維持管理に努めます。

CO ₂ 排出量 回転炉床式焼却炉 A重油	単位	目標	実績	CO ₂ 削減率 25.1%増加	
	t-CO ₂	197.2	246.7		
	ℓ	72,777	91,040		

ロータリーキルン A重油使用量



- 【取り組み】
- 運転時の使用量を記録して、月末に進捗状況の見直しを行いました。
 - 汚泥の在庫量の管理を強化し、効率の良い運転管理に努めました。
- 【実績・評価】
- 目標184.6 t-CO₂に対して、実績197.6 t-CO₂と目標達成に至りませんでした。
 - 施設の稼働率は54期とほぼ同じでしたが、廃棄物投入量の管理を見直したことで、54期に比べて4.7 t-CO₂排出量が減少しました。
- 【今後】
- 搬入量により稼働状況は左右しますが、少しでもA重油使用量の削減に努めます。
 - 老朽している設備を改修して、効率の良い運転管理に努めます。

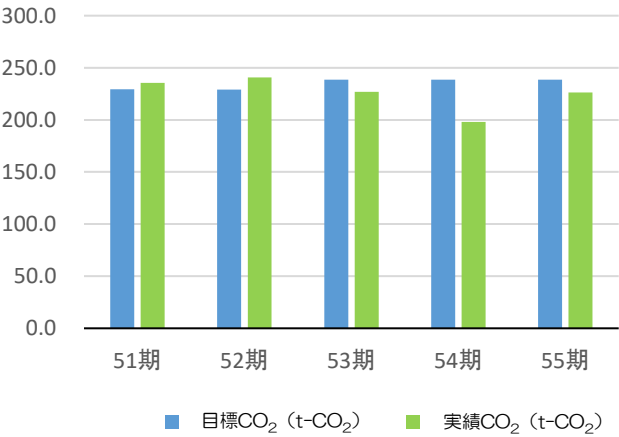
CO ₂ 排出量 ロータリーキルン炉 A重油	単位	目標	実績	CO ₂ 削減率 7.0%増加	
	t-CO ₂	184.6	197.6		
	ℓ	68,139	72,913		



【本社工場の取り組み】

- ・ 回転炉床式及びロータリーキルンの温度管理を徹底することで、A重油使用量を削減して温室効果ガス排出量抑制に努めています。

回転炉床 電力使用量



【取り組み】

- 毎日の使用量を記録して、月末に進捗状況の見直しを行いました。
- 電力の消費を抑えるため、設備更新時には省エネ機器を導入するように努めました。
- 施設内の照明でLED化出来る箇所をピックアップし、更新を行いました。

【実績・評価】

- 目標238.7 t-CO₂に対して実績226.2 t-CO₂と目標達成できました。
- 既各機器の定期メンテナンスとしてオイル交換を適正期間で定期的に行いました。
- 前期同様、照明のLED化を進めました。

【今後】

- 引き続き使用していない機器はブレーカーを落とすことを徹底し、また、設備更新時には、省エネ機器の導入と照明のLED化を順次実施し、56期も目標達成を目指します。

CO ₂ 排出量 回轉炉床式焼却炉 電力	単位	目標	実績	CO ₂ 削減率	
	t-CO ₂	238.7	226.2	5.2%削減	
	kWh	343,930	386,633		

13 気候変動に具体的な対策を

13 気候変動に
具体的な対策を



【本社工場の取り組み】

- ・ 回転炉床式の機器は使用時以外ブレーカーを落として待機電力にも注意を払い、電力使用量を削減して温室効果ガス排出量抑制に努めています。

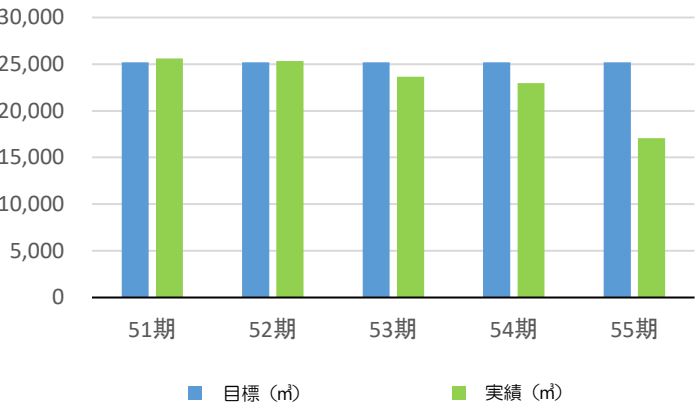


LED照明



重油流量計

回転炉床 用水使用量



【取り組み】

- 毎日の使用量を記録して、月末に進捗状況の見直しを行いました。
- 設備更新を行いました。

【実績・評価】

- 目標24,699m³に対して17,074m³と目標達成できました。
- 設備更新により大幅な使用量削減となりました。

【今後】

- 場内全般の更なる節水への意識付けと用水タンクの更新を実施し今後も目標達成を目指します。

回転炉床式焼却炉 用水	単位	目標	実績	削減率	
	m³	24,699	17,074	30.9%削減	

6

安全な水とトイレを世界中に



6 安全な水とトイレを世界中に

【本社工場の取り組み】

- 本社工場では、焼却炉の洗浄等で使用される用水を排水処理施設で再処理して、焼却炉冷却や車両洗浄、場内の洗浄清掃に使用して節水に努めています。

化学物質使用量

セメント 使用量	単位	目標	実績	削減率	
	t	1,824	1,384	24.1%削減	

PAC 使用量	単位	目標	実績	削減率	
	ℓ	1,000	360	64%削減	

【取り組み】

- セメント使用量は、仕事量増加の為に大幅に増加しましたが、セメントの種類を見直すことによりセメント製造時のCO₂排出量削減に貢献しました。（参考前年度比286 t-CO₂減）
- 設備更新に伴い苛性ソーダの使用は無くなりました。

用水使用量は設備の更新により目標達成できました。電力使用量は設備増設による使用量の増加で目標未達となりました。A重油使用量は焼却炉改修工事直後の不具合で目標未達となりました。

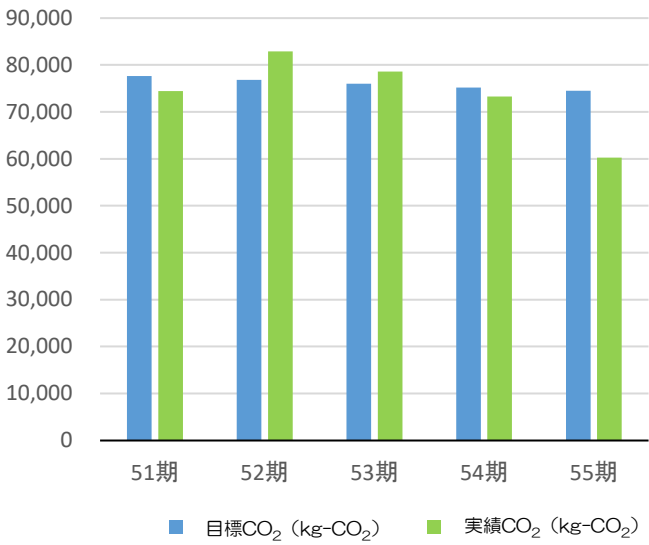
現在焼却炉は安定運転を続けており、今後は焼却効率や運転管理方法を作業員内で模索し続け、目標達成できるように努めていきます。



本社工場 藤井主任

(2) 倉橋工場の取り組み

倉橋工場 軽油使用量



【取り組み】

- 季節に応じて処理方法・行程を見直し、無駄な重機の稼働を抑えました。
- 在庫を適正化し、無駄な作業工程の削減に努めました。
- 肥料配達にかかる燃料消費を抑えるためサービス内容の見直しに取り組みました。

【実績・評価】

- 目標74,500kg-CO₂に対して、60,226kg-CO₂と目標を達成できました。
- 汚泥処理および製品製造の管理が安定してきたことで無駄な動きが減り、主要な3台の重機の稼働時間を昨年度より計580時間削減することができました。
- 昨年度途中に導入した低燃費のバックホーによる削減効果もありました。

【今後】

- 作業工程の改善を追求するためにも安定した工場運営に努めつつ、状況の変化にも柔軟且つ迅速に対応できるよう常に一步先を見た管理に努めます。

CO ₂ 排出量 軽油	単位	目標	実績	CO ₂ 削減率	
	kg-CO ₂	74,500	60,226		
	ℓ	28,388	22,949		

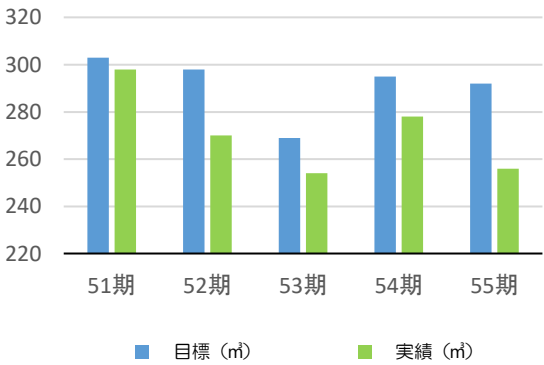


13 気候変動に具体的な対策を

【倉橋工場の取り組み】

- 倉橋工場では、作業工程の見直し等によりムダを取り除くことで電力使用量を削減し、温室効果ガス排出量抑制に努めています。

倉橋工場 水使用量



【取り組み】

- 洗車をされる搬入業者様へ節水のご協力を呼び掛けました。
- 日々の水道メーター確認を通して漏水の有無に気付けるよう意識付けを行いました。

【実績・評価】

- 目標292m³に対して、256m³と目標を達成できました。
- 前年度比で搬入量が減ったことで洗車回数が減り、使用量が減りました。
- 今年度は漏水が一度も無かったため、必要最低限の使用量に抑えることができました。

【今後】

- 既にほぼ必要最低限の水使用量に達しているため、今後は今の水準を維持できるよう漏水の見落としなど無駄を発生させない管理を徹底していきます。

水道水	単位	目標	実績	削減率	
	m³	292	256	12.3%削減	

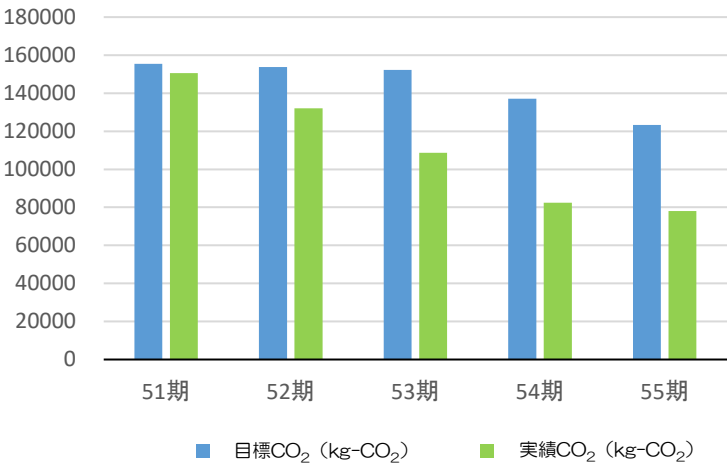


6 安全な水とトイレを世界中に

【倉橋工場の取り組み】

- 倉橋工場では、重機や車両洗車に使用する水使用量の節水に努めています。

倉橋工場 電力使用量



【取り組み】
●発酵状況、外気温等の変化に応じた送風機の風量（周波数）調節を行いました。
【実績・評価】
●目標123,400kg-CO₂に対し78,047 kg-CO₂と目標を達成できました。
●汚泥処理工程の管理が安定してきたことで、以前にも増して季節変化に合わせた繊細な風量調節が可能になってきました。
【今後】
●今後は年々削減幅が小さくなると思いますが、僅かでも前進できるよう可能性を探り続けます。

CO ₂ 排出量 電力	単位	目標	実績	CO ₂ 削減率	
	kg-CO ₂	123,400	78,047	36.8%削減	
	kWh	177,810	133,414		

13 気候変動に具体的な対策を

【倉橋工場の取り組み】

- 倉橋工場では、設備を更新し電力使用量削減と業務改善を両立して温室効果ガス排出量抑制に努めています。



油圧ショベル



小型送風機用インバータ

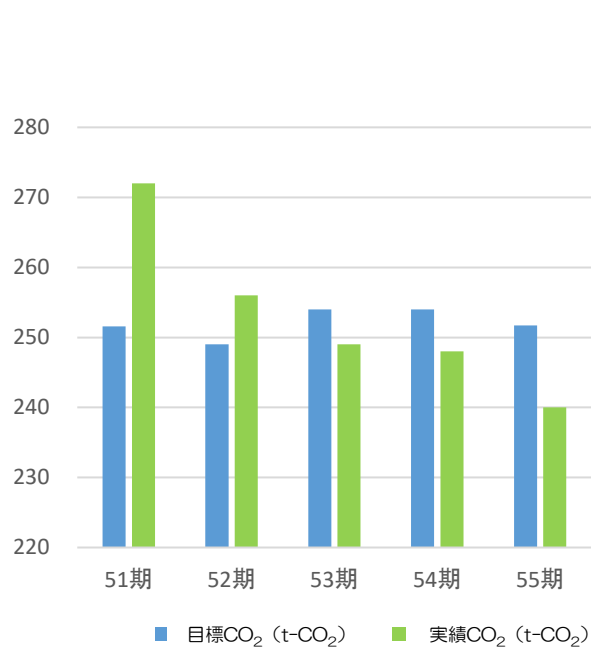
今期も着実に燃料、水道、電気全ての使用量を削減することができました。電気や燃料価格の高騰が続く中、益々エネルギーや資源節約の重要性が高まっています。これまでの取り組みを強化しつつ新たな取り組みの可能性も模索し、脱炭素化や資源循環に貢献して社会的責任を果たしていきたいと思います。



倉橋工場 石津工場長

(3) 業務部の取り組み

業務車両 燃料使用量



【取り組み】

- 毎月の軽油、ガソリンの使用量を集計しました。
- 毎月の走行距離、特殊車両はアワメーターを集計し、適正期間にグリスアップ、オイル交換を実施しました。
- 毎月1回の業務会議で使用量、燃費、燃料代、削減案等の情報を共有し、削減のために何が必要か全員で検討、実施しました。
- 毎月数台、車両をピックアップし車両美化（サビ落とし、塗装、タッチアップ）を行いました。

【実績・評価】

- 目標251.7 t-CO₂に対し、241 t-CO₂と目標達成できました。
- 安全衛生の観点から、夏場の熱中症対策としてエアコンの使用を推進したため、燃費は54期とほぼ同じとなりました。

【今後】

- 使用量の削減、維持管理、修繕の効率化に努めます。
- 55期と同様に月に数台、車両をピックアップし車両美化（サビ落とし、塗装、タッチアップ等）に努めます。
- 月1回の業務会議での情報共有を引き続き行い、削減の為に何が必要か考え、実行していきます。

CO ₂ 排出量 燃料	単位	目標	実績	削減率	
	t-CO ₂	251.7	241	4.3%削減	

燃料使用量	種類	単位	前年実績	本年実績	燃料削減率
	軽油	ℓ	91,964	89,004	3.2%削減
	ガソリン	ℓ	2,865	2,975	3.8%増加



13 気候変動に具体的な対策を

【業務部の取り組み】

- ・業務部では、アイドリングストップはもちろんのこと定期メンテナンスによる燃費向上を目指し燃料使用量を削減して温室効果ガス排出量抑制に努めています。

車両修繕において、自社で行えるもの、修理業者に外注するものを検討し、自社で出来ることを増やしていき（知識と経験）修繕費の削減に努めたいと思います。

また、車両美化が継続できているので引き続き取り組んでいきたいと思っています。



業務部 水田課長

業務部 建設工事

【取り組み】

●排水処理槽の腐食箇所の防食工事を行いました。

【実績・評価】

- 工事件数は16件で、54期より10件増えました。
- 売上高は137,603千円で、54期より22,664千円増加しました。
- 汚泥他88.65 t を全量リサイクルしたことで廃棄物量は0でした。
- 現場事務所や工事時に使用した軽油等によるCO₂排出量は3,178kg-CO₂でした。
- 事務所を留守にする時に必ず電気を消すなど、当たり前の取り組みをして日々環境負荷軽減に努めました。

【今後】

●建設工事で発生する廃棄物をできる限りリサイクルするとともに、エネルギー使用量を極力抑え、環境負荷の軽減に努めていきます。

【防食工事概要】

●下水処理場における、長年の使用によって腐食が激しくなっている箇所に防食処置を施す工事です。事前調査に基づき、既存コンクリートの腐食・劣化の程度によって、補修のレベルを決定します。(コンクリートの劣化部除去厚、修復厚、防食材料の種類等) 超高压洗浄にて、既存コンクリート劣化部を除去し、除去前の断面まで耐硫酸モルタルを塗布し、埋め戻した後、防食ライニングを施します。

エネルギー 使用量	ガソリン	軽油	電力	水	CO ₂ 排出量
	195ℓ	774ℓ	1186Kwh	0m ³	3,178kg-CO ₂

活動規模	単位	55期	リサイクル量 (t)	廃棄物量 (t)	CO ₂ 排出量 (kg-CO ₂)
工事の件数	件	16	88.65	0	3,178
売上高	千円	137,603			
品種	がれき類	有機汚泥	無機汚泥	紙くず	金属
廃棄物量	-	-	-	-	-
リサイクル量	28,730kg	21,180kg	35,940kg	0kg	2,800kg



超高压洗浄の様子



耐酸モルタル塗布の様子



防食作業の様子



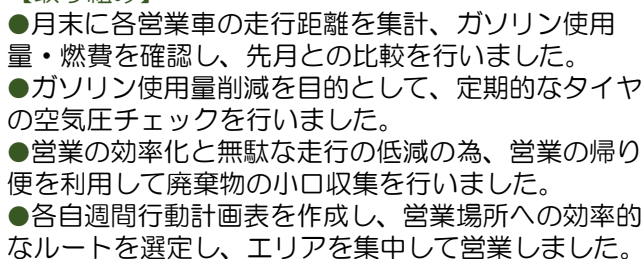
工事完了の状況

今期も引き続き、下水処理施設のコンクリート防食工事に従事しました。仮設足場を組み立てた上での高所作業であるため、墜落・落下防止を重点課題としました。また、施設運転管理者等、第三者との災害の危険性もあるため、仮設通路設置や作業区画整理によって、安全施工に努めました。低騒音・低振動機械の使用や、節水・節電等、環境負荷軽減の取り組みにも注力しました。



業務部 藤元課長

【取り組み】



【実績・評価】

- 目標20,101kg-CO₂に対して、16,753kg-CO₂と目標達成できました。
- 週間行動計画を部内で共有することで、計画的な営業ができ使用量も削減できました。

【今後】

●重複した営業ルートの見直しを行い、無駄な移動を無くしていくことでCO₂削減を目指していきます。

CO ₂ 排出量 ガソリン	単位	目標	実績	CO ₂ 削減率	
	kg-CO ₂	20,101	16,753	16.7%削減	
	ℓ	8,658	7,216		



除菌清掃の様子

区画	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	合計
ヤリス	10,000	5,880	5,700	6,280	11,000	13,000	14,840	14,140	14,430	22,000	20,000	27,070	20,270	
スズキ	10,000	2,785	3,870	2,690	1,175	1,591	1,148	2,587	1,867	2,572	2,029	3,211	2,931	26,361
合計	20,000	8,665	9,570	8,970	12,175	14,591	15,988	16,727	16,297	24,572	22,029	30,281	23,201	
S1715	10,000	11,715	11,715	11,715	11,715	11,715	11,715	11,715	11,715	11,715	11,715	11,715	11,715	11,715
区画	(k m.2)													
区画	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	合計
エブリィ	135,671	135,337	135,337	135,337	135,337	135,337	135,337	135,337	135,337	135,337	135,337	135,337	135,337	135,337
スズキ	10,000	1,806	2,392	2,683	1,915	2,710	3,814	2,960	2,167	2,758	1,409	2,626	2,681	30,303
合計	145,671	137,143	137,730	137,974	137,252	138,047	139,151	138,300	137,504	138,095	136,746	137,963	138,018	
S1815	10,000	134,542	134,542	134,542	134,542	134,542	134,542	134,542	134,542	134,542	134,542	134,542	134,542	134,542
区画	(k m.2)													
区画	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	合計
エブリィ	135,671	135,337	135,337	135,337	135,337	135,337	135,337	135,337	135,337	135,337	135,337	135,337	135,337	135,337
スズキ	10,000	1,806	2,392	2,683	1,915	2,710	3,814	2,960	2,167	2,758	1,409	2,626	2,681	30,303
合計	145,671	137,143	137,730	137,974	137,252	138,047	139,151	138,300	137,504	138,095	136,746	137,963	138,018	
S1815	10,000	134,542	134,542	134,542	134,542	134,542	134,542	134,542	134,542	134,542	134,542	134,542	134,542	134,542
区画	(k m.2)													
区画	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	合計
エブリィ	135,671	135,337	135,337	135,337	135,337	135,337	135,337	135,337	135,337	135,337	135,337	135,337	135,337	135,337
スズキ	10,000	1,806	2,392	2,683	1,915	2,710	3,814	2,960	2,167	2,758	1,409	2,626	2,681	30,303
合計	145,671	137,143	137,730	137,974	137,252	138,047	139,151	138,300	137,504	138,095	136,746	137,963	138,018	
S1815	10,000	134,542	134,542	134,542	134,542	134,542	134,542	134,542	134,542	134,542	134,542	134,542	134,542	134,542
区画	(k m.2)													
区画	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	合計
エブリィ	135,671	135,337	135,337	135,337	135,337	135,337	135,337	135,337	135,337	135,337	135,337	135,337	135,337	135,337
スズキ	10,000	1,806	2,392	2,683	1,915	2,710	3,814	2,960	2,167	2,758	1,409	2,626	2,681	30,303
合計	145,671	137,143	137,730	137,974	137,252	138,047	139,151	138,300	137,504	138,095	136,746	137,963	138,018	</

データ入力シート

13 気候変動に 具体的な対策を



【営業部の取り組み】

- ・営業部では、アイドリングストップはもちろん、定期的に低燃費車両に入替えをし、ガソリン使用量を削減して温室効果ガス排出量抑制に努めています。

13 気候変動に具体的な対策を

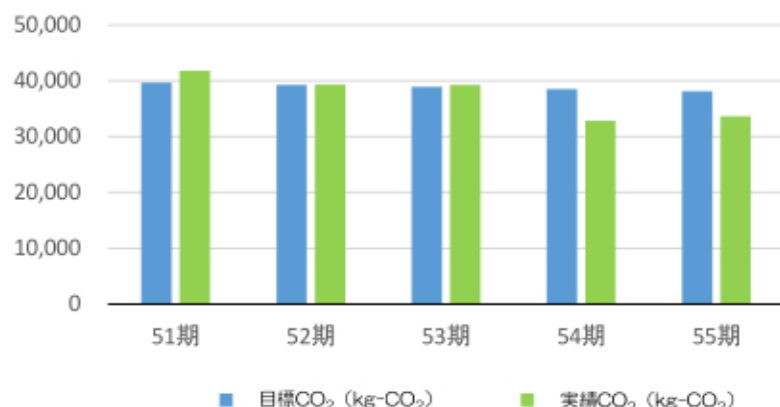
営業の効率化・無駄な走行の削減の為、前期同様に各自週間行動計画表作成と車両走行距離・給油量把握を行ってきました。日頃から実績数値を把握することで環境意識向上に確実に表れていると思います。55期も引き続きコロナ禍という社会情勢の中、産業廃棄物を営業車両で収集しましたが、使用後の感染対策を含めた清掃で安全に営促が行えました。56期も感染対策を行い、営業の効率化と環境意識を高めて運転を行い、環境負荷低減に努めて参ります。



営業部 福原係長

(5) 総務部の取り組み

事務所 電力使用量



【取り組み】

● 事務所内照明のこまめな消灯やパソコン不使用時の電源OFF等の省エネ活動に努めました。

【実績・評価】

● 目標38,099kg-CO₂に対して、実績33,678kg-CO₂と目標達成できました。

● 電力使用量は増加しましたが、電力排出係数の見直しにより目標を達成できました。

● パソコン不使用時の電源OFFなどの取り組みをして、節電に努めましたが、コロナ感染症対策として、定期的に窓を開ける換気を行った事で、エアコン使用量は増加しました。

【今後】

● こまめな節電やエアコンの定期的なフィルター掃除を引き続き継続して行い、電力使用量削減に取り組んでいきます。

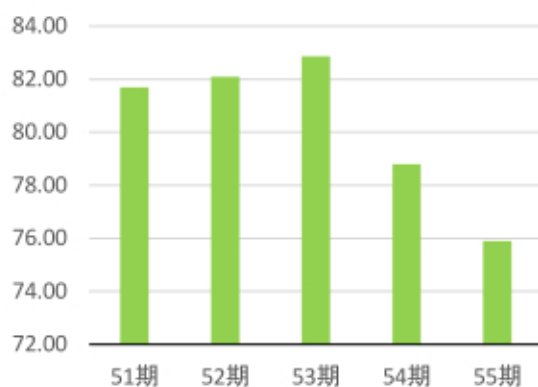
CO ₂ 排出 量電力	単位	目標	実績	CO ₂ 削減率	
	kg-CO ₂	38,099	33,678	11.6%削減	
	kWh	54,899	57,569		

13 気候変動に具体的な対策を

【総務部の取り組み】

- 総務部では、事務所内のこまめな節電と快適な仕事環境を両立し、温室効果ガス排出量抑制にも努めています。

グリーン購入率(%)



【取り組み】

● 環境対応商品の購入推進について、消耗品購入カタログへ貼り紙を添付し、社員への周知徹底を行いました。

【実績・評価】

● 54期の78.8%に対して、55期は75.9%と購入率は減少しました。

● コピー用紙等は100%再生品を購入しています。

● プラスチック資源循環促進法施行を受け、55期途中から、使用済クリアホルダーの回収再資源化事業に参加し、その収益を環境NGOに寄付しました。

【今後】

● 環境対応商品を購入しているか、チェックする取り組みを継続していきます。

12 つくる責任つかう責任

【総務部の取り組み】

- 総務部では、物品購入を管理し、環境対応商品か否かを確認して購入しています。

55期の電力使用量は目標に対して削減という結果となりました。感染症対策と電力使用量の削減を両立させ、今後も、こまめな節電を継続し目標を達成できるよう取り組んでいきたいと思ひます。



総務部 山田主任

(6) 環境計量室の取り組み

環境分析

場 所	項目	単位	結果	規制値	測定日
本社工場 (回転炉床式焼却炉)	ばいじん	g/m ³ N	0.015	0.25	2021/12/13
	塩化水素	mg/m ³	19	700	2021/12/13
	硫黄酸化物	m ³ /h	定量下限値未満	5.7	2021/12/13
	窒素酸化物	ppm	54	-	2021/12/13
	全水銀濃度	μg/m ³	0.47	50	2021/12/13
	ダイオキシン	ng-TEQ/m ³	0.32	10	2021/12/13
	臭気	臭気指数	19	31	2022/5/24
本社工場 (ロータリーキルン炉)	ばいじん	g/m ³ N	0.016	0.25	2021/12/22
	塩化水素	mg/m ³	定量下限値未満	3	2021/12/22
	硫黄酸化物	m ³ /h	0.32	4.8	2021/12/22
	窒素酸化物	ppm	66	-	2021/12/22
	全水銀濃度	μg/m ³	0.89	50	2021/12/22
	ダイオキシン	ng-TEQ/m ³	0.00014	10	2021/12/22
	臭気	臭気指数	27	37	2022/5/24
本社工場 (環境放流水)	BOD	mg/ℓ	7		2022/7/28
	COD	mg/ℓ	35		2022/7/28
	SS	mg/ℓ	6		2022/7/28

* 窒素酸化物の規制値は施設が小規模なため規制はかかっておりません。
* 環境放流水は、外部への放流をしていないため規制はかかっておりません。
(測定機関)

- 本社工場 (回転炉床式焼却炉) : (株)エヌ・イーサポート
- 本社工場 (ロータリーキルン炉) : (株)エヌ・イーサポート
- 本社工場 (環境放流水) : (株)カンサイ

作業環境測定	
場 所	管理区分
本社工場 (回転炉床式焼却炉)	第1管理区分
本社工場 (ロータリーキルン炉)	第1管理区分

- (測定機関)
- MHIソリューションテクノロジーズ



測定の様子

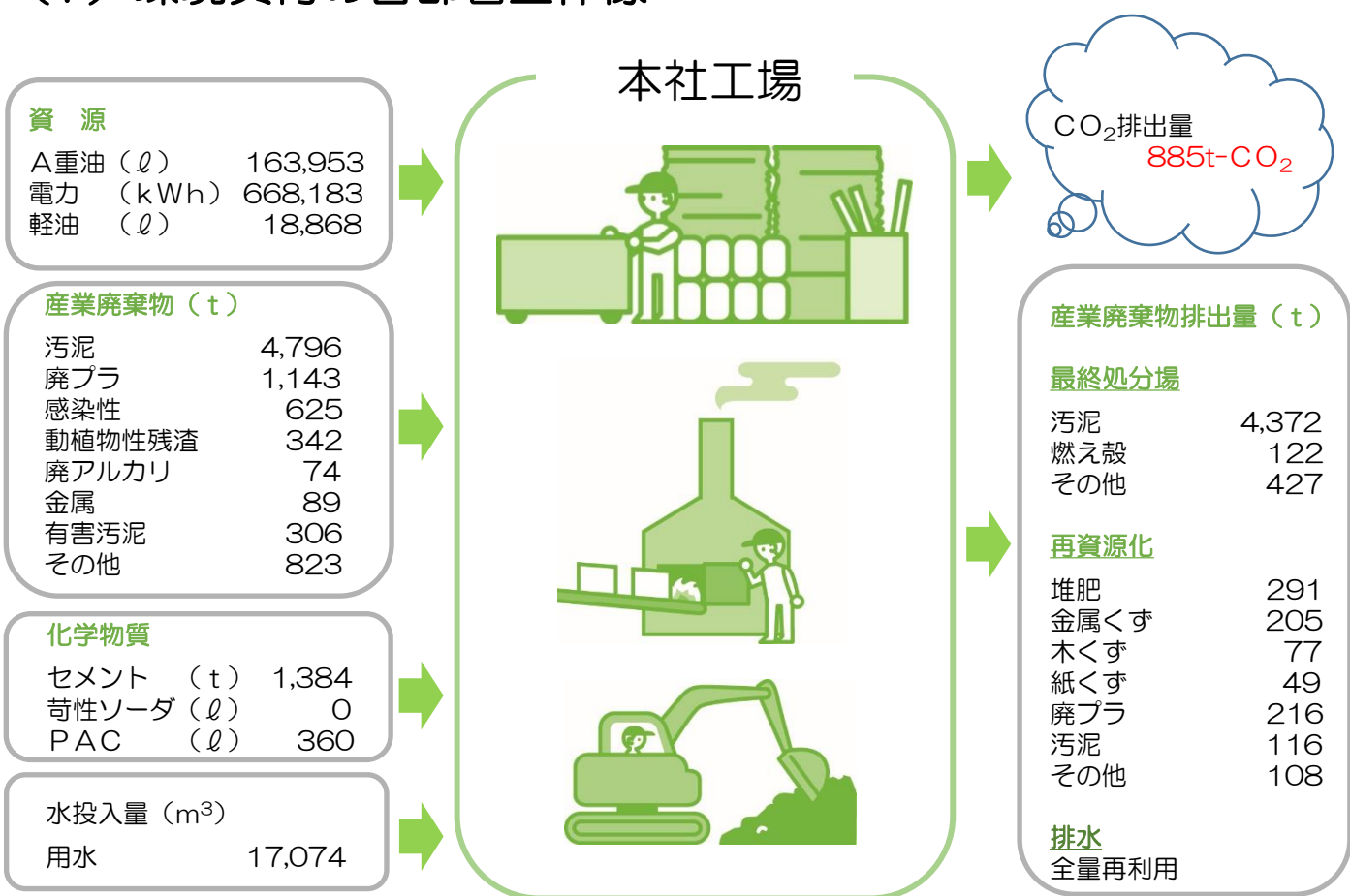


大気汚染防止法、ダイオキシン類対策特別措置法および悪臭防止法に基づき特定施設である回転炉床式焼却炉とロータリーキルン炉の環境測定を実施しました。測定結果は上記表の通りで、いずれの項目も規制基準値以下でした。また、作業環境測定(ダイオキシン類)におきましても第1管理区分の評価となり良好な結果を得ました。今後も引き続き施設管理の適正評価を実施して行きます。

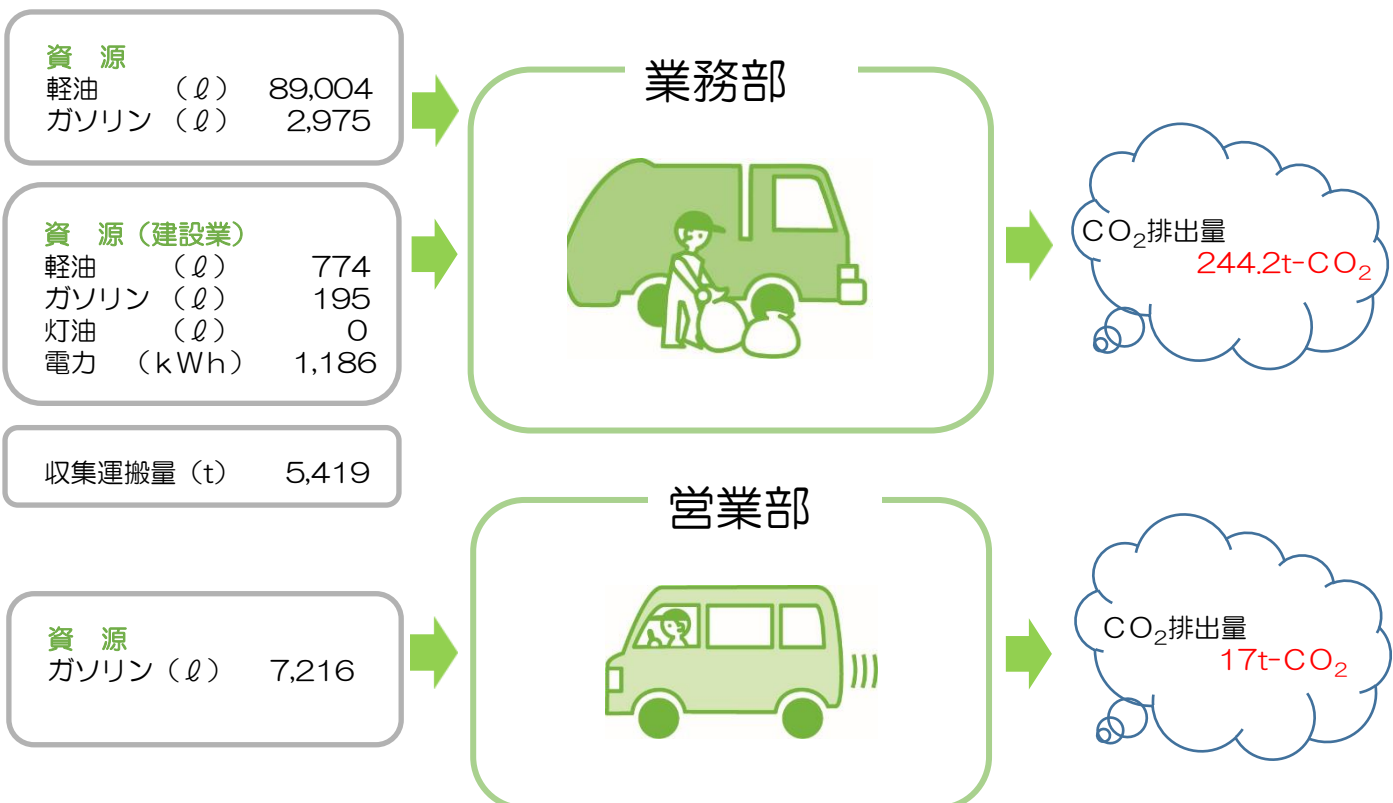


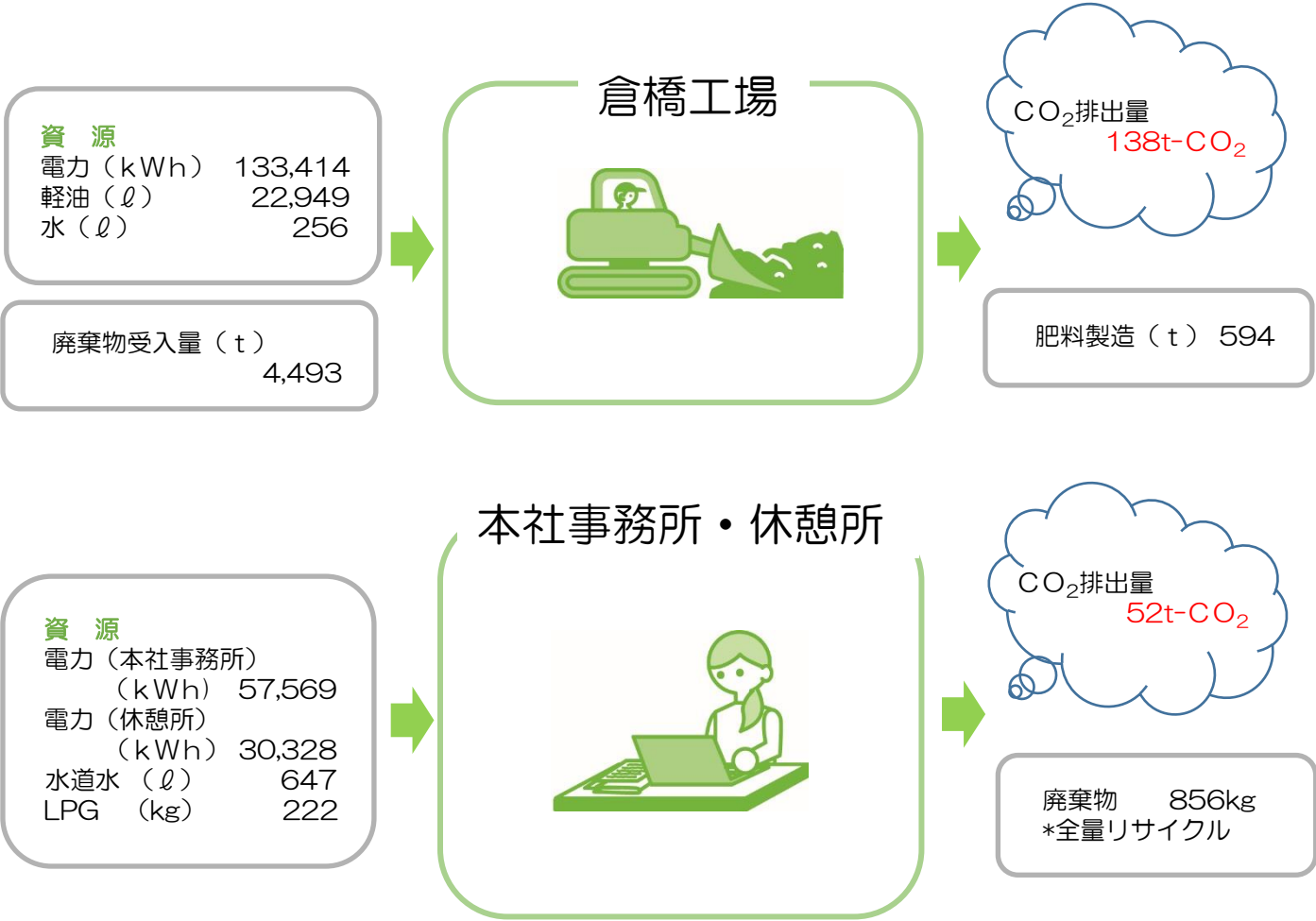
環境計量室 道方室長

(7) 環境負荷の各部署全体像

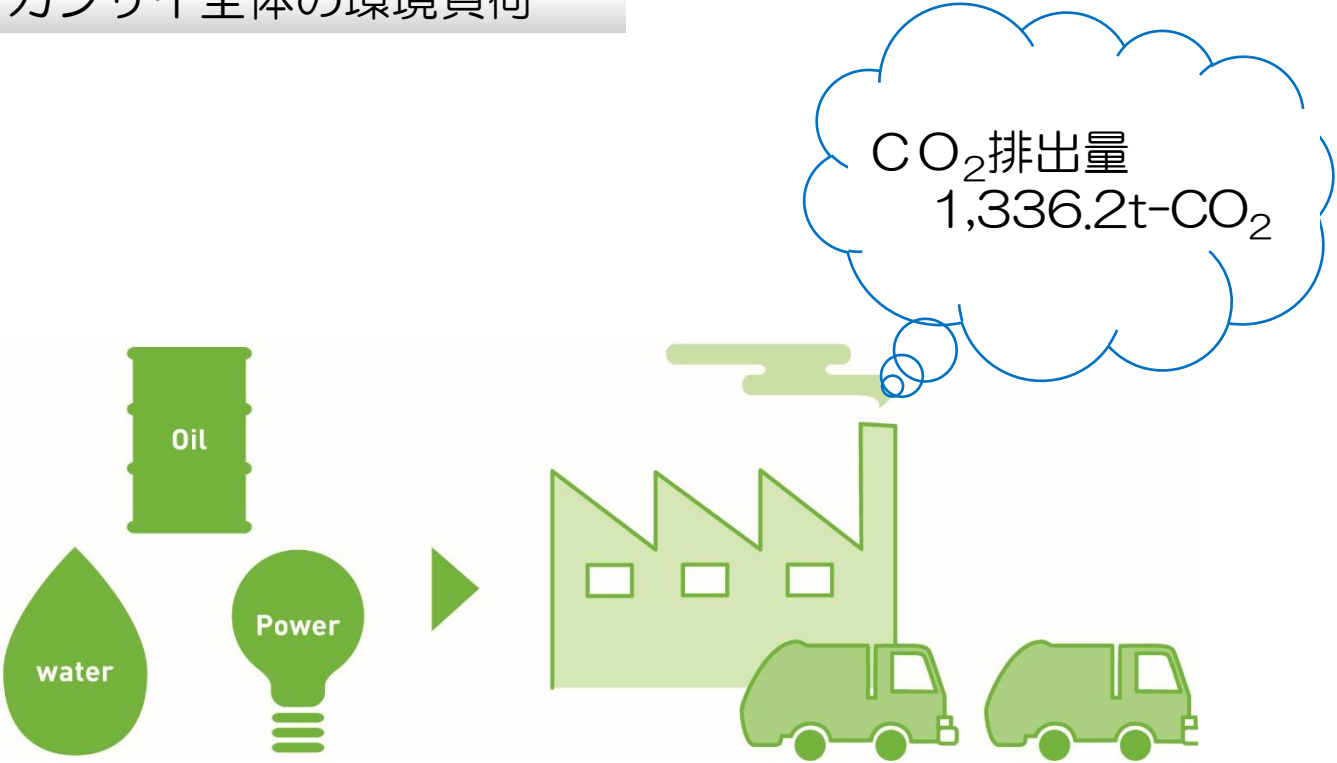


*本社工場は、リサイクルが困難な廃棄物を積極的に受入れています。従ってリサイクル率が13%（54期11.1%）と低いのですが、今後もリサイクル困難廃棄物を可能な限り分別してリサイクル率向上に努めます。





カンサイ全体の環境負荷



（１）本社工場の取り組み

【取り組み】

- 施設の改善として、焼却炉の改修工事計画実施をしました。
- 工具仮置き場の改善工事を実施しました。
- 在庫管理の強化として、前期同様に搬入・処理スケジュールを作成し実行しました。あわせて毎月1日に定点観測をしました。
- 各環境測定として、55期もダイオキシン測定をはじめ各環境測定を実施しました。
- 一年間無事故無災害として、指差し確認の啓発と熱中症対策をしました。

【実績・評価】

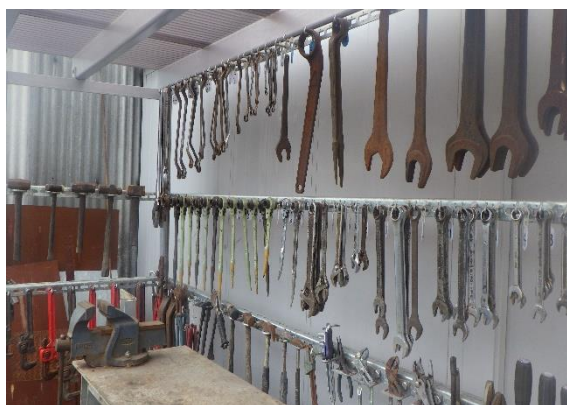
- 施設の改善では、経年劣化の激しかった回転炉床炉の大規模改修工事を実施しました。
- 操作室の移転に伴い工具置き場を改修し、一目でわかるようにして工具を探すという無駄をなくしました。
- 在庫管理強化では、前期同様に搬入・処理スケジュールを作成することで、廃棄物が滞ることがなくなりました。また、毎月定点観測することで客観的に在庫状況が把握でき、先入れ先出しが容易にできるようになりました。
- 各環境測定を実施し測定結果は基準値以下でした。詳しいデータは20ページに掲載しています。
- 一年間無事故無災害では、朝礼での危険予知活動の継続と指差し確認の徹底と、夏場の熱中症対策として、操作室エアコンの更新とスポーツドリンクを常備しました。
- 点検や各作業の手順書を細かく記載しヒューマンエラー防止に努めました。

【今後】

- 施設の改善として、破砕機更新のスケジュールを立てて取り組んでいきます。
- 在庫管理として、定点観測資料を活用して廃棄物の定位置を決め定量管理をして、効率よく仕事ができるように努めていきます。
- 一年間無事故無災害として、今までの取り組みを継続することと、廃棄物における危険性を再教育して無事故無災害に取り組んでいきます。



焼却炉改修工事の様子



工具置場の様子



定点観測の様子

55期は、焼却炉改修工事後運転中のトラブルが無くなり、稼働ロスが改善され、管理も以前に比べてかなり楽になりました。

今後も、目標を持ち廃棄物を処理していくうえで、まだ改善できる余地があると思いますので、創意工夫して取り組みたいと思います。また、毎週の点検を怠ることなく作業に当たり維持管理に努めていきます。



環境事業部 森中主任

(2) 倉橋工場の取り組み

- 長年使用した洗濯機、衣類乾燥機を買い替えました。
- 清掃時の作業終了後は、エンジンブロワーで清掃をして社内美化に努めました。

- 仕事上汚れと匂いは付き物なので、毎朝清潔な作業着で気持ちよくスタートできる環境を整えることができました。
- 竹ぼうきなどでは掃ききれなかった細かい粉塵まできれいにすることができ、場内美化と作業の効率化を両立できました。

●社員が前向きな姿勢で仕事に取り組めるよう環境の整備を進めていきます。



洗濯乾燥機の様子

(3) 業務部の取り組み

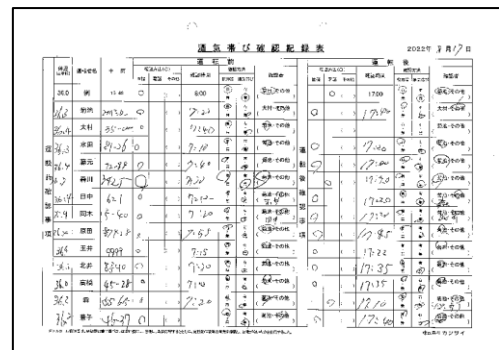
- 一年間無事故・無災害を達成する為、毎朝のKYKミーティングを行い、また、部内の密な情報共有のために、月一回の業務会議と共に、週一回の管理者ミーティングを行いました。
- 飲酒運転の防止及び新型コロナウイルス感染拡大防止策として、毎朝のアルコールチェック、手指消毒、検温を行いました。
- 収集・運搬に使用する容器や箱置場に屋根を設け、雨や落葉対策をしました。



資材置き場

- 無事故・無災害では、労災が0件、安全確認不足による接触事故が7件起きました。
- 55期に於いても、アルコール検出者は0人でした。

- 無事故・無災害を達成するために、引き続き、危険予知活動を継続していきます。
- 多種多様な業務を安全に遂行する為に、部内コミュニケーションや、情報共有に力を入れていきます。
- 資機材倉庫の整理整頓に取り組み、よりスムーズな仕事ができるように努めます。



アルコールチェック表

6 安全な水とトイレ
を世界中に

- ・業務部では、下水処理場や上水場の処理設備の清掃・補修により安全な水とトイレの維持に貢献しています。

55期は無災害ではありましたが、事故件数が大幅に増えました。繁忙期に無理な配車をして集中力を欠いていたケースもあったと考えられますので、56期に於いては、仕事のバランスを考え、ムリ・ムダの無いように努めてまいります。



業務部 藤元課長

(4) 環境計量室の取り組み

【取り組み】

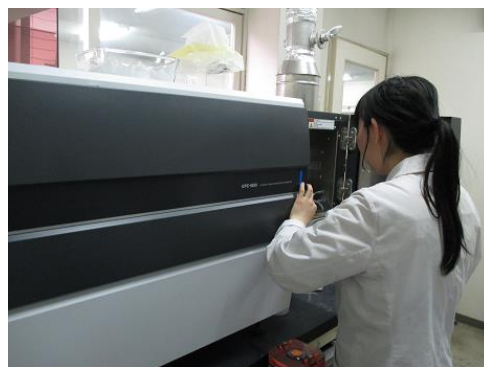
- 社屋周辺の土壌及び地下水汚染の有無を調査するため、年1回観測井戸調査を実施しました。
- 水質汚濁防止法に基づく水質検査を本社屋合併浄化槽にて年1回実施しました。
- 本社工場の処理水（外部への放流なし）は、自主基準値を設け年1回実施しました。
- 本社工場から最終処分場へ搬出される汚泥や燃え殻を、埋立基準に適合するか否かを判定するために有害物質の分析を実施しました。
- 分析技術向上のため、内部精度管理を行うと共に、環境省主催の外部精度管理に参加しました。
- 分析に使用する薬品の管理、特に劇物毒物のチェックを毎月行い、薬品の漏洩等の事故防止に努めました。



サンプリング業務

【実績・評価】

- 本社屋及び本社工場の水質検査結果は、共に排出基準値及び自社基準値を下回る値でした。
- 環境省主催の外部精度管理の結果は適合でした。
- 劇物毒物の管理チェック表を記録保管しました。



分析装置点検の様子

【今後】

- これまで取り組んできた事柄を継続すると同時に、新たな課題等を見出し解決に努めて行きます。

15 陸の豊かさを守ろう

【環境計量室の取り組み】

- 分析室では、人と動植物の共生に必要な環境の保全を分析業務を通して、持続可能な自然環境の一翼を担っています。

環境計量室はエコアクション活動として上記取り組みを行っています。環境法規に対する遵法性の検証のための分析、環境計量室分析者のレベルアップのための研修会参加や内部・外部精度管理の実施および劇物毒物の管理。これらの活動を通して、環境保全に勤め分析機関としての信頼性確保に努めてまいります。



環境計量室 道方室長

(1) 営業部の取り組み

【取り組み】

- 社員及び家族とのつながりについて、社内報「春夏秋冬」を今期も年2回継続して発行し社員の各家庭に郵送しました。
- 地域貢献の一環として、会社周辺道路の清掃活動を毎月1回、継続して実施しました。
- ステークホルダーとのつながり拡充として、会社パンフレットを刷新しました。

【実績・評価】

- 社内報は今期も年2回継続して発行しました。今期は家族会などの大きなイベントは前年に続いて中止となりましたが、本社工場の焼却炉の更新工事や行動規制も和らいだ事で野球観戦も実施でき、家族の皆様にもその時々のお社内の雰囲気伝わったのではないかと思います。
- 会社周辺道路の清掃活動については、毎月1回の収集を継続して行い、年間可燃ごみ約48.5kg、空き缶約5.4kgを回収しました。前期と比較すると可燃ごみ及び空き缶で若干ではありますが減少となりました。
- 前期に施設見学時の会社説明のプレゼンを刷新し、今期は3年ぶりに住民見学も実施され25組のお客様に見学にご来社頂きました。
- 会社パンフレットを刷新しました。社員の写真を増やすことで、ステークホルダーの皆様にもどのような会社か伝わる事、また正確で分かりやすい紙面となるよう熟考を重ねました。

【今後】

- 年2回の社内報「春夏秋冬」の発行を続けていきます。社員間やご家族の方とのコミュニケーションを深め会社が近くに感じて頂けるよう工夫していききたいと思います。
- 地域清掃活動については、地域社会の一員として環境美化に貢献し、月1回の清掃活動を継続していきます。
- コロナウイルス感染対策を徹底し状況を判断しながら、ステークホルダーの皆様とのつながり拡充に取り組んでいきたいと思っています。



野球観戦の様子



刷新したパンフレット



11 住み続けられるまちづくりを

【営業部の取り組み】

- 営業部は、地域貢献の一環として13年前から継続的に清掃活動に参加し住みやすいまちづくりに貢献しています。

今期はコロナウイルス感染対策の行動制限も緩和され、野球観戦等の社員交流も実施する事ができました。

また、このコロナ禍で人と人との繋がりが難しくなり、営業部で取り組んでいるコミュニケーションの必要性が大きくなってきています。今後ともその意義を感じつつ、社内報発行や清掃活動、会社パンフレットなどツールを使って、ステークホルダーの皆様との関係性を深めていきたいと思っています。



営業部 中尾主任

(2) 倉橋工場の取り組み

【取り組み】

- 署内のチーム力向上を目指し、2、3カ月に1回のペースで部署内ミーティングを実施しました。

【実績・評価】

- 社内研修である環境力道場の内容や部署内の作業計画を共有し、日々の仕事の意味付けを行いました。
- 社員一人一人が一年の目標を決めて仕事に向き合うことで、マンネリ化を防ぐと同時に向上心の醸成に取り組みました。

【今後】

- それぞれの社員が強みを発揮し、お互いの弱みを補い合える総合力の高い部署を目指していきます。

(3) 総務部の取り組み

【取り組み】

- 社員とのつながりとして、「永年勤続表彰」と「誕生月にあたる社員のお祝い」を継続して行いました。「誕生月にあたる社員のお祝い」は55期からケーキは社員本人のみでなく、社員の中学生以下の家族にもプレゼントするようになりました。
- 家族を含めたコミュニケーションの場である、「家族会」を企画しました。
- 社員間の情報共有として、社内掲示と社内事項の一斉メール配信を継続して行い、情報の共有化を図りました。
- 積極的な情報公開として、ホームページ上に環境経営レポートを掲載し、ホームページのお知らせを定期的に更新しました。
- クリアホルダー再資源化を目標とし、クリアホルダー回収BOXを設置、使用済みのクリアホルダーを回収しました。

【実績・評価】

- 55期の「永年勤続表彰」は2名の社員が該当し、お祝いをしました。2名の内、最長者は40年勤続でした。朝礼での授賞式や、受賞者の写真を社内に掲示したことで、本人のみならず他の社員のやりがいや意欲向上につながる取り組みが出来たと思います。「誕生月にあたる社員のお祝い」では、誕生日当日に全社員へ一斉メールを配信し、社員本人からのコメントを掲示しました。また、55期から社員の中学生以下の家族にも誕生日当日にケーキをプレゼントしました。
- 「家族会」を企画していましたが、新型コロナウイルス感染拡大予防の観点から、中止となりました。
- 55期も引き続き、ホームページのお知らせを定期的に更新し、積極的な情報公開に努めました。

【今後】

- 社員からも好評の「永年勤続表彰」と「誕生月にあたる社員のお祝い」は56期も継続して行いたいと思います。「家族会」に関しては、継続して企画をしますが新型コロナウイルスの情報を注視し、開催するか否かを判断していきます。



【総務部の取り組み】

- 総務部は、誕生日のお祝いや家族会などイベントを企画し、社員間のコミュニケーション向上を図り働きやすい職場づくりに努めています。

55期も新型コロナウイルスの影響で、企画していた家族会を中止しなければならない状況となりました。今回も大変残念でしたが、社員の安全・健康を重視した上で差し支えないことは継続して行い、問題なく再開出来るような状況になり次第、再開していきたいと思っています。



総務部 山田主任

(1) 環境力道場

【環境力道場とは？】

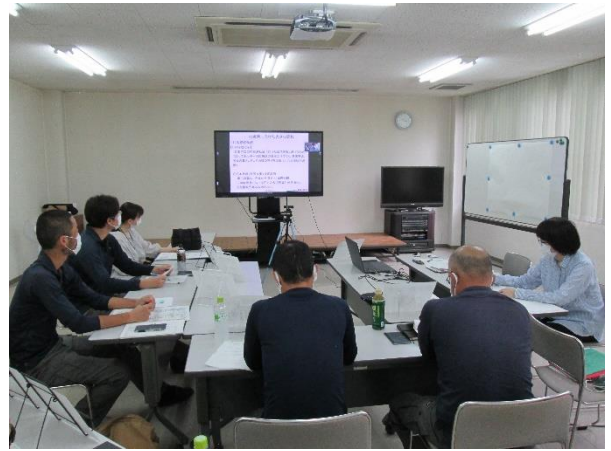
●環境力道場はその名の通り、環境力を身につけることによりカンサイ独自のビジネス展開と持続可能な社会づくりへの貢献を目指し、皆で道場のごとく意見をぶつけ合い、互いの理解を深め各自の能力向上を図る社員研修です。外部講師（環境文明研究所、加藤三郎先生、藤村コノ卫先生）を招いて実施しています。

【研修内容】

- コロナ禍のためオンラインで開催し、廃棄物業界の最新情報や地球温暖化問題等を幅広く学び、今後の事業展開を模索しました。
- 46期（2013年度）から始まった環境力道場を継続して取り組むことで、知識を知恵に変え、自ら考え行動できる社員を育てています。
- 社員数の一番多い業務部が抱える問題点を部員全員で議論して、直ぐに取り組める事案を行動に移しました。
- 55期は各部署の役職者が参加をして、カンサイが目指す将来像「環境創造総合企業」とは、どのような方向で進むべきか、カンサイの現状を客観的に把握して、具体的に実行に移すための議論を始めました。
- 今回も「人間力の向上」をテーマにし、新年の目標を社員一人ひとりが掲げ、途中で振り返りをして取り組みました。

【今後】

- 日本の削減目標2050年ゼロエミッションに向けての規制強化の情報を注視して今後の事業展開をしていきます。
- 全社員の知恵を結集させて、日々起こる問題やこれまで解決できていない課題の解決策を導きだし、実行していきます。
- 環境創造総合企業とは、社会情勢やお客さまのニーズ、環境と共に変化していきますので、社内の横の繋がりを密にして、その時々々にベストな選択ができるような企業体質にしていきます。



オンラインでの様子



業務部研修の様子

カンサイの環境・持続性に向けた取り組みの現状

	5 十分に やっている	4 かなり やっている	3 ほどほど に	2 あまり やってない	1 全くやっ てない
①公害対策の実施		●			
②省エネ・省資源の徹底			●		
③再エネの積極的活用				●	
④自社廃棄物再生利用・適正処理		●			
⑤生物保護・環境美化		●			
⑥環境情報積極的開示・説明責任	●				
⑦地域住民との共同作業		●			
⑧NPOやボランティア活動支援	●				
⑨社員の環境教育実施	●				
⑩国際協力・支援					●

(2) 環境文明塾

【環境文明塾とは】

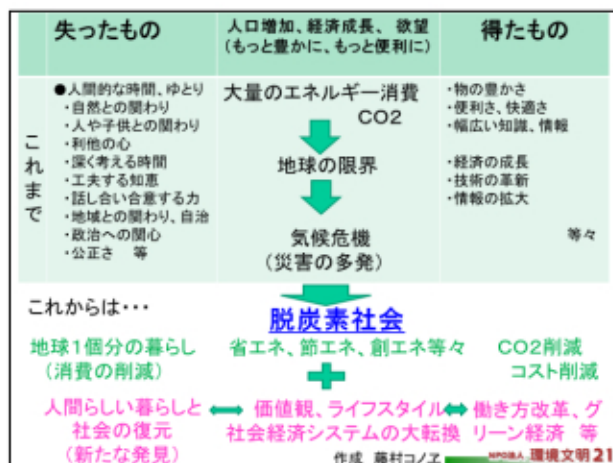
●持続可能な社会を築くための理念や手段等について様々な業種の多くの仲間と一緒に探求し、それを、明日の企業社会を担い、子どもたちを始めとする次世代に健全な社会を引き継げる人を育てる場でNPO環境文明21が主催するものです。

【取り組み】

●コロナ禍のためオンラインでの開催となりましたが、異業種の方々と活発な議論や意見交換が行われ、持続可能な社会の実現にはいろいろなアプローチの仕方があることを学びました。次回参加予定の者に引き継ぎを行い学びを共有しました。

【今後】

●コロナウイルスの影響でWeb研修になっていますが、東京での再開後は異業種の方と交流を深めて、社員の視野を広げていきます。



環境文明塾講義内容

(3) 全体教育

【人間力の向上】

●昨年に続き今年も新年の抱負「人間力の向上」を目標に全社員で取り組みました。

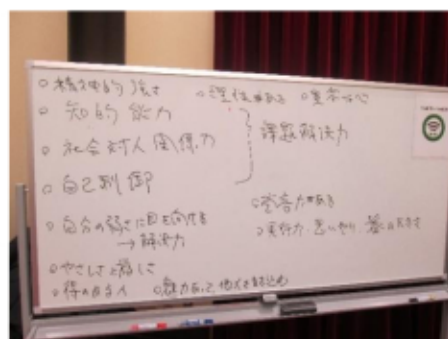
【取り組み】

●各自が「求められる人間力とは何か」を考え目標を掲げ、その目標を元に行動指針を作成しました。

●55期終了時に検証を行いました。その中で、概ね順調・順調にできていると答えた人が82%と、もっとも多く取り組みの成果が出ていました。

【今後】

●56期は経営者が常日頃から発している「人の良いところを見よう」を各々が心にとめて人間力の向上を目指します。また、仕事をする上で健康が第一ですので、56期は社員の健康をテーマにした取り組みを、各々の実情に応じた目標を掲げて行い、会社からは助成をして取り組みの後押しをしていきます。



人間力のある人とは・・・

健康部	
田原 茂樹	・年間1,200kmランニング (100km/月)
橋本 一広	・月30km登山する
藤原 史之	・バトミントン練習月300回 (年3,600回) チャレンジ
中尾 大輔	・30km/月ランニング
沖 昌伸	・年間で430kmランニング、月平均36km
丸山 浩洋	・週5日以上10分間のストレッチで筋力性を高める。
健康部	
藤原 広志	・朝、夕、30分歩くなどダイエットして、ウエスト95-95、一年、5kg減する(一日平均5,000歩以上)
金子 典雄	・マンション自宅(5F)へ階段を毎日使用する(一日1往復、年間365往復目標)
山田 俊彦	・一日平均5,000歩 (年間1,825,000歩) のウォーキングをする
吉村 誠子	・一日30回のスクワットをする、腰に負担を軽減していき一年後には一日50回を目指す
大塚 知寿	・1週間90分ウォーキングする (一日平均15分)
上田 恵利	・週に5日(火・水・土) 散歩50分する。

健康の取り組み

4 質の高い教育をみんなに

【組織全体の取り組み】

・カンサイは、OURカンパニーの考えの元に環境力道場や社員研修旅行など多くの社員教育を行っています。会社の宝である社員に各研修を通じ、より良い仕事ができ、より良い生活が送れるよう教育の場を設けています。



(4) 火災訓練

【活動内容】

- 本社工場内で火災が発生した想定で、消火栓を用いた消防訓練を実施しました。
- 取引先で漏洩事故が発生したことを踏まえて、漏洩事故訓練を実施しました。

【今後】

- 迅速に初期対応ができる体制づくりのため、定期的に訓練を実施していきます。

【感想】

- 消火栓の水圧にびっくりした。
- 経験を頭に叩き込み、事故発生時には適切に対応したいと思いました。
- 事故はあってはいけないのですが、起きた時には慌てず対応したいです。



(5) カンサイ理念手帳

【カンサイ理念手帳（フィロソフィー）とは】

- フィロソフィーとは、日本語で『哲学』のことです。私たちカンサイは、人と人との調和・人と自然との調和を大切にして、全従業員の物心両面の幸せを追求する企業です。

【取り組み】

- 手帳の内容をより浸透させるために、ソフト面的な項目について、各部署でミーティング等により共有を図りました。

【今後】

- 50期に完成した理念手帳の内容を一人ひとりがより深化させて、良いことがあっても悪いことがあっても、カンサイ社員としての判断基準にしていきます。
- この理念手帳はこれで完成ではなく、日々の仕事を通じて得た新しい気付きとともに、今後の目標に向かって社員自らが修正・追加を重ね進化させていきます。



カンサイ理念手帳

(6) セクハラ・パワハラ防止

【セクハラ・パワハラ対策】

- 経営者と顧問弁護士からなる相談窓口を設けセクハラ・パワハラの撲滅に努めています。

【実施内容】

- 55期もハラスメント相談件数が0件でした。
- 顧問弁護士が開催する勉強会に参加してハラスメント防止に努めました。

【今後】

- 一人ひとりが行動や言動に注意を払いカンサイからハラスメントの加害者、被害者が出ないように努めていきます。



勉強会内容

5 ジェンダー平等を実現しよう

【組織全体の取り組み】

- カンサイは、顧問弁護士によるセクシャルハラスメント・パワーハラスメントの社員研修を全社員が受講し各種ハラスメントが起きないように努めています。



問題処置票雛形

(8) 資格取得

資 格 名	取得者数 (54期)	取得者数 (55期)	資 格 名	取得者数 (54期)	取得者数 (55期)
環境計量士	1	2	フルハーネス	8	10
特別管理廃棄物処理業（処分過程）	1	1	アーク溶接	7	7
特別管理廃棄物処理業（収集運搬）	1	1	高所作業車	3	4
産業廃棄物処理業（処分過程）	1	1	特定化学物質等作業主任者	7	6
産業廃棄物処理業（収集運搬）	1	1	有機溶剤作業主任者	4	4
産業廃棄物焼却施設技術管理士	1	1	玉掛	11	15
産業廃棄物中間処理施設技術管理者	1	1	足場	3	3
作業環境測定士	1	1	車両系建設機械（整地等）	11	10
臭気判定士	1	1	小型移動式クレーン	8	10
2級土木施工管理技士	4	4	フォークリフト	11	14
計量証明事業主任計量者	1	2	高圧洗浄作業	4	4
一般毒物劇物取扱者	1	2	職長教育	4	3
危険物取扱者（乙種第4類）	2	2	下水道管路管理技士	1	1
危険物取扱者（丙種）	1	1	小型ボイラー取扱業務	1	1
第一種安全衛生管理者	5	5	廃棄物の焼却施設に関する業務	4	4
運行管理者	2	2	廃棄物焼却施設（ダイオキシン類）作業指揮者	2	2
安全運転管理者	2	2	第二種電気工事士	3	3
二級ボイラー	1	1	ガス溶接	3	8
第二種酸素欠乏危険作業主任者	15	15	車両系建設機械（解体）	5	5

【取り組み】

- 資格取得へのチャレンジでは、本社工場で「玉掛け」を2名「計量証明主任計量者」を1名取得しました。
- 業務部では「フォークリフト」を2名、「車両系建設機械（解体）」を1名、「第二種酸素欠乏危険作業主任者」を1名、「玉掛」を1名、「移動式クレーン」を1名、「フルハーネス」2名取得しました。
- 環境計量室では「環境計量士」を1名取得しました。

【実績・評価】

- 必要な技能や教育を計画的に取得することができました。

【今後】

- 56期も必要な資格取得はもちろんのこと、社員のレベルアップのため、資格取得にチャレンジしていきたいと思います。

今期は新型コロナウイルス感染者が落ち着いた5月に社員希望者を募りカーブ観戦をしました。気持ちのいい気候のなか久しぶりに社員同士のコミュニケーションがとれました。環境力道場、環境文明塾ともリモートで引き続き実施され、社内の課題解決や社員の勉強の場となっています。人間力の向上を目的とした個人の取り組みも社員の意識向上に一定の成果がありました。また、56期は健康を意識したチャレンジ目標を掲げ、定期的に検証していく取り組みも開始しました。少しずつ規制緩和の動きがみられる中、来年からは会社行事も状況を判断して実施していく予定です。



営業部 田原部長

(1) 本社工場の取り組み

【取り組み内容】

●ひとつの作業を確実に行うよう、指差し確認を徹底して行いました。また、工場内に標語を張り出して注意喚起を促しました。

●啓発のため指差し確認のボードを工場の各所に設置しました。その甲斐あって本社工場では、無災害日数が2310日（9/30現在）を継続しています。

●毎日の朝礼時に、「報連相」「5S」の復唱をして意識向上に努めると共に、工場内に標語を張り出して注意喚起を促しました。

●工場内防犯カメラの更新を行い、遠隔操作で場内の様子を確認できるようにしました。

●回転物での巻き込まれ防止対策として、現場操作スイッチを作業員が停止しやすい位置に移設と増設をしました。

●猪が荒らして崩落の危険がある本社工場の法面をコンクリート吹付を行いリスク軽減に努めました。

●毎日業務終了後には、使用した重機の洗車と定期的にワックス掛けをして清潔で衛生的な職場づくりをしました。

●重機や設備に腐食が見られると、塗装をして腐食防止を行い重機と設備の延命をしました。



指差し確認作業風景



無災害ボード



朝礼の様子



吹付工事の様子



塗装作業の様子

(2) 倉橋工場の取り組み

【取り組み内容】

- 朝礼時にKY活動を実施し、注意喚起およびヒヤリハットの共有をしました。
- 防犯カメラを設置して、休業日の悪天候など遠隔操作で場内の様子を確認できるようにしました。
- 場内の劣化した路面を補修して荷崩れ等のリスク軽減をしました。



防犯カメラ設置の様子

(3) 業務部の取り組み

【取り組み内容】

- 毎日出勤時にアルコールチェックを行いました。卓上用アルコール検知器を導入してから検出された人は0人で、飲酒運転撲滅に対する社員の意識も年々向上しています。また、法改正に伴い検知の記録と保存を行いました。
- アルコール検知器に運転免許証の有効期間も表示されますので、運転免許更新忘れがないよう注意喚起を行っています。

[illegible]

アルコールチェック表

(4) 組織全体の取り組み

【取り組み内容】

- 毎日朝礼前に、本社周辺道路の清掃と春夏には除草作業をし、秋冬には落ち葉の清掃を行っています。
- 営業部は月に一度清掃範囲を広げて周辺道路の清掃を行っています。このような地道な活動を継続することで、周辺美化に気をつけています。
- 労働災害防止啓発活動として、毎月1日からの一週間を安全週間として安全旗を本社屋に掲げて啓発活動を行っています。



除草作業の様子

本社工場では、以前より継続して取り組んでいる指差し確認などの安全確認を継続しつつ、法面の補強などいくつかの新たな取り組みも実行する事が出来ました。倉橋工場でも安全に対する注意喚起などは継続しつつ、路面補修などの新たな取り組みも実行する事が出来ました。

また、業務部では以前より実施していたアルコールチェックを退勤時にも実施し、より安全な車両運行並びに法令順守に取り組む事が出来ました。

組織全体でも54期同様、本社及び周辺道路の清掃を実施し、周辺環境の美化に努めてまいりました。また、新たに安全週間を設け、啓発活動も行いました。

55期も多くの部署で新たな安全衛生に取り組む事が出来ました。56期も良い取り組みは継続し、職場環境の更なる安全衛生の向上に努めてまいります。



本社工場 飯田次長

産業廃棄物収集運搬業許可一覧

許可行政	許可番号	許可期限年月日	優良認定	許可年月日
広島県	第03409004558号	令和10年09月01日	(優)	令和3年09月02日
岡山県	第03307004558号	令和5年06月18日	(優)	平成28年07月01日
島根県	第03200004558号	令和7年11月07日	(優)	平成30年11月08日
山口県	第03500004558号	令和7年11月24日	(優)	平成30年11月25日
鳥取県	第03104004558号	令和10年07月05日	(優)	令和3年07月06日
愛媛県	第03805004558号	令和7年08月28日	(優)	平成30年08月29日
高知県	第03900004558号	令和11年09月04日	(優)	令和4年09月05日
徳島県	第03600004558号	令和5年10月23日	(優)	平成28年11月08日
香川県	第03709004558号	令和5年05月26日		平成30年06月06日
兵庫県	第02803004558号	令和11年08月30日	(優)	令和4年08月31日
大阪府	第02700004558号	令和6年04月10日		平成31年04月11日

特別管理産業廃棄物収集運搬業許可一覧

許可行政	許可番号	許可期限年月日	優良認定	許可年月日
広島県	第03459004558号	令和5年11月28日	(優)	平成28年11月29日
岡山県	第03357004558号	令和5年06月18日	(優)	平成28年07月01日
島根県	第03250004558号	令和5年09月02日	(優)	平成28年09月03日
山口県	第03550004558号	令和7年11月24日	(優)	平成30年11月25日
鳥取県	第03154004558号	令和8年02月01日	(優)	平成31年02月02日
愛媛県	第03855004558号	令和7年08月28日	(優)	平成30年08月29日
高知県	第03950004558号	令和11年09月04日	(優)	令和4年09月05日
徳島県	第03650004558号	令和5年10月23日	(優)	平成28年11月08日
香川県	第03759004558号	令和5年05月26日		平成30年06月06日
兵庫県	第02853004558号	令和11年08月30日	(優)	令和4年08月31日
大阪府	第02750004558号	令和6年04月10日		平成31年04月11日

産業廃棄物処分業許可一覧

許可行政	許可番号	許可期限年月日	優良認定	許可年月日
広島市	第07320004558号	令和11年03月21日	(優)	令和4年03月22日
呉市	第07422004558号	令和5年07月28日		平成30年07月29日

特別管理産業廃棄物処分業許可一覧

許可行政	許可番号	許可期限年月日	優良認定	許可年月日
広島市	第07370004558号	令和11年09月27日	(優)	令和4年09月28日

施設	処理方法	処理能力	事業所
回転炉床式焼却炉	焼却	6.6t/日	本社工場
ロータリーキルン式 焼却炉	焼却	4.8t/日	本社工場
二軸剪断式破碎施設	破碎	木くず6.0t/日・・・他	本社工場
縦型圧縮梱包器	圧縮	繊維くず4.49t/日・・・他	本社工場
移動式脱水車	移動脱水	50m ³ /日	本社工場
固化施設	固化	50m ³ /日	本社工場
天日乾燥施設	天日乾燥	50m ³ /日	本社工場
連続中和装置	中和	48m ³ /日	本社工場
安定化処理施設	安定化	4t/日	本社工場
発酵施設	発酵	15m ³ /日	本社工場
発酵施設	発酵	70t/日	倉橋工場

区分	産業廃棄物収集運搬業	産業廃棄物処分業
燃え殻	○	
汚泥	○	○
廃油	○	○
廃酸	○	○
廃アルカリ	○	○
廃プラスチック類	○	○
紙くず	○	○
木くず	○	○
繊維くず	○	○
動植物性残渣	○	○
動物系固形不要物	○	○
ゴムくず	○	○
金属くず	○	○
ガラス・陶磁器くず	○	○
鉱さい	○	
がれき類	○	
動物のふん尿	○	
動物の死体	○	
ばいじん	○	
産廃処理物	○	
石綿含有産廃を含む	○	

区分	特別管理産業廃棄物収集運搬業	特別管理産業廃棄物処分業
廃油	○	○
廃酸	○	○
廃アルカリ	○	○
感染性産業廃棄物	○	○
特定有害産業廃棄物	特別管理産業廃棄物収集運搬業	特別管理産業廃棄物処分業
燃え殻	○	○
汚泥	○	○
廃油	○	○
廃酸	○	○
廃アルカリ	○	○
鉱さい	○	○
ばいじん	○	○



本社工場破碎作業の様子



業務部吸引作業の様子

収集運搬車両数量等

吸引車（10t/4t）：4台



吸引車は、大風量のブロウでタンク内を負圧にし、ホースの先から吸引します。液体物だけでなく、泥状物や粒子状の固形物の吸引が可能です。

ダンプ車（10t/3t/2t）：5台



スタンダードなダンプ仕様に加え、水密性箱型ダンプ仕様も用意して、あらゆる廃棄物に対応できるようにしています。

ウイング車（8t/4t/2t）：3台



主にドラム缶やフレコンバッグ等、容器に入れられた廃棄物を運搬する車両です。8t車では一度に34本のドラム缶を運搬することができます。

コンテナ車（10t/4t）：8台



お客様のところに専用コンテナを設置し、廃プラスチック類や脱水汚泥等の廃棄物を収集運搬する車両です。有機汚泥には密閉式コンテナも用意しています。

ユニック車（4t）：2台



トラックに取付けられたクレーンを使って、重量物を吊上げて積載する車両です。

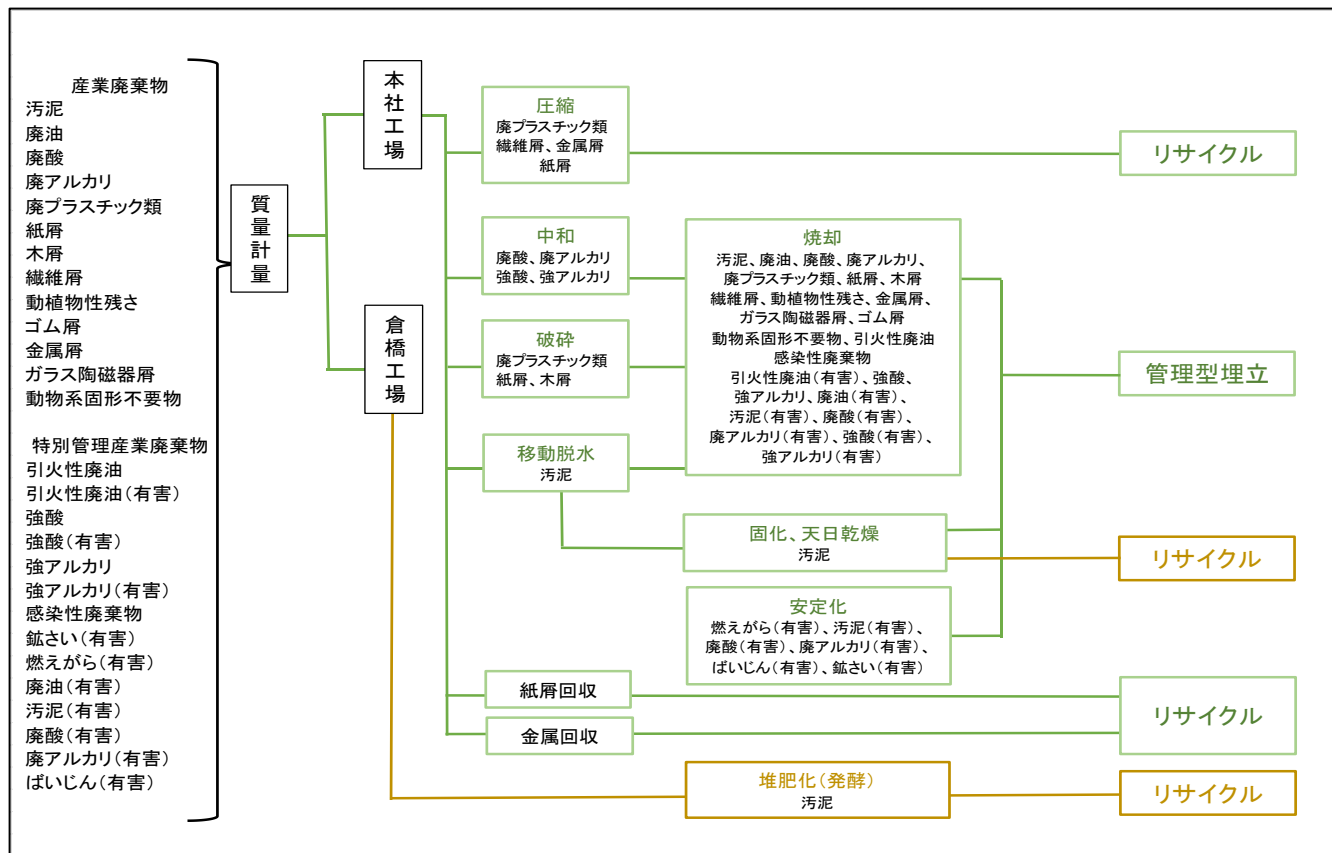
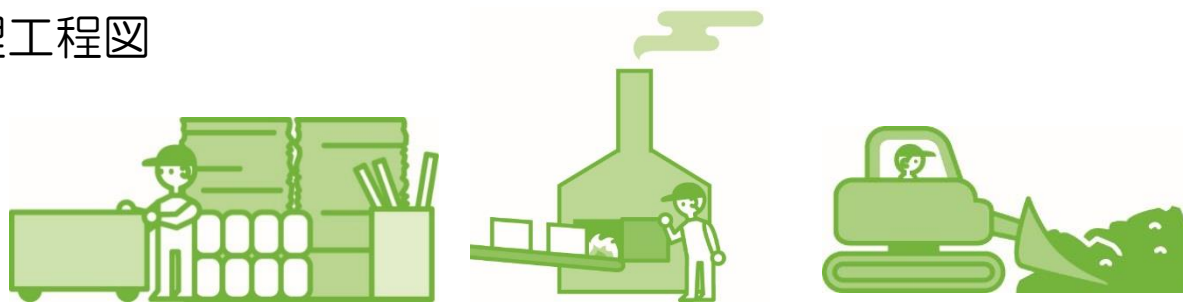
パッカー車（2t）：4台



街中でよく見かけるゴミ収集車です。小さな車両ですが、積載できる量は2tと多い車両です。

軽バンなどを合わせると全38台あり、あらゆる廃棄物に対応できるようにラインナップしています。

車種	車番	積載量(kg)	車種	車番	積載量(kg)
大型吸引車	1540	8850	2tアームロール	2843	2000
大型吸引車	1785	7370	4t水密ダンプ	8840	3600
4t吸引車	4707	2900	3tダンプ	8895	3000
4t吸引車	8126	2470	3tダンプ	4801	3000
8tウイング	2838	6800	2tダンプ	3425	2000
4tウイング	3086	2250	2tパッカー	8625	2000
2tパワーゲート	8653	2000	2tパッカー	4637	2000
大型ダンプ	3762	9800	2tパッカー	4528	2000
大型平ボディー	2330	13800	2tパッカー	8342	2000
大型アームロール	2710	10900	4tユニック	3284	2550
4tアームロール	5565	3900	4tユニック	7919	3450
4tアームロール	8156	4000	軽ダンプ	4412	350
4tアームロール	1851	4050	軽バン	1169	350
3tアームロール	1581	3000	軽バン	3465	350
3tアームロール	8859	3000	軽バン	621	350
3tアームロール	9432	3000	軽バン	2030	350
洗浄車	7428	-	軽バン	3813	350
洗浄車	3570	-	ハイエース	264	1150
給水車	5019	-	TV車	9003	-



環境関連法規・訴訟

(1) 当社に適用となる主な環境関連法規制等

法律・条例等	要項	主な内容
環境基本法	第8条	・事業活動に伴い生じる公害を防止する
		・事業活動に係る製品が廃棄物となった場合の適正処理の措置
		・事業活動に係る製品が使用、廃棄されることによる環境負荷の低減と再生資源の利用
		・国または地方公共団体の環境保全に関する施策への協力
廃棄物の処理及び清掃に関する法律	第12条	・廃棄物の排出を抑制し、適正な分別、保管、収集、運搬、再生、処分等の処理を行う
		・生活環境を清潔にすることにより、生活環境の保全及び公衆衛生の向上を図る
		・マニフェストの交付、管理の遵守
水質汚濁防止法及び広島県公害防止条例	第5条	・工場及び事業場から排出される水の排出及び浸透を規制し、生活排水対策を実施する
		・水質の汚濁の防止を図り、国民の健康を保護するとともに生活環境を保全する
		・健康被害が生じた場合の責任を明確にし、被害者の保護を図る
騒音規制法	第5条	・騒音についての必要な規制を行なうとともに、許容限度を定めることにより、生活環境を保全し、国民の健康の保護に資する
振動規制法	第5条	・振動について必要な規制を行うとともに、道路交通振動に係る要請の措置を定めること等により、生活環境を保全し、国民の健康の保護に資する
悪臭防止法	第4条	・悪臭について必要な規制を行い、その他悪臭防止対策を推進することにより、生活環境を保全し、国民の健康の保護に資する
大気汚染防止法	第2条	・ばい煙、揮発性有機化合物及び粉じんの排出等を規制し、有害大気汚染物質対策の実施を推進する
		・自動車排出ガスに係る許容限度を定めること等により国民の健康を保護するとともに生活環境を保全する
		・健康被害が生じた場合の損害賠償の責任について定めることにより、被害者の保護を図る
ダイオキシン類対策特別措置法	第2条	・ダイオキシン類による環境の汚染防止及びその除去等をするため基準を定め、必要な規制、汚染土壌に係る措置等を定め、国民の健康の保護を図る
特定化学物質の環境への排出量の把握等及び管理の改善の促進に関する法律	第2条	・事業者による化学物質の自主的な管理の改善を促進し、環境の保全上の支障を未然に防止する
消防法	第17・21条	・国民の生命、身体及び財産を火災から保護するほか、災害等による傷病者の搬送を適切に行うことで秩序を保持し、社会公共の福祉の増進に資する
肥料取締法	第4条	・肥料の品質を保全し、その公正な取引と安全な施用を確保するため、規格及び施用基準の公定、登録、検査等を行う。農業生産力の維持増進に寄与する
建設業法	第3条	・建設業を営む者の資質の向上、建設工事の請負契約の適正化等を図ることによって、建設工事の適正な施工を確保し、発注者を保護するとともに、建設業の健全な発達を促進する
建設リサイクル法		・特定の建設資材について、その分別解体等及び再資源化等を促進する
		・登録制度を実施し再生資源の十分な利用及び廃棄物の減量等を図る
道路運送車両法		・所有権についての公証等を行い、並びに安全性の確保及び公害の防止その他の環境の保全並びに整備についての技術の向上を図る
毒物及び劇物取締法	第4条	・毒物及び劇物について、保健衛生上の見地から必要な取締を行う
計量法	第10条	・計量の基準を定め、適正な計量の実施を確保
高圧ガス保安法	第9条	・高圧ガスの製造、貯蔵、販売、移動その他の取扱い及び消費並びに容器の製造及び取扱いを規制する
放射線障害防止法		・放射性同位元素の使用、販売、賃貸、廃棄その他の取扱い、発生装置の使用及び放射性汚染物の廃棄その他の取扱いを規制し、これらによる放射線障害を防止する
労働安全衛生法		・労働災害の防止のための危害防止基準の確立
		・責任体制の明確化及び自主的活動の促進
		・職場における労働者の安全と健康を確保し、快適な職場環境の形成を促進する
古物営業法		・盗品の売買の防止、速やかな発見等を図るため、必要な規制を行い、犯罪の防止を図り、その被害の迅速な回復をはかる
フロン排出抑制法	第16条	・機器使用環境の維持保全、簡易点検

(2) 違反、訴訟等

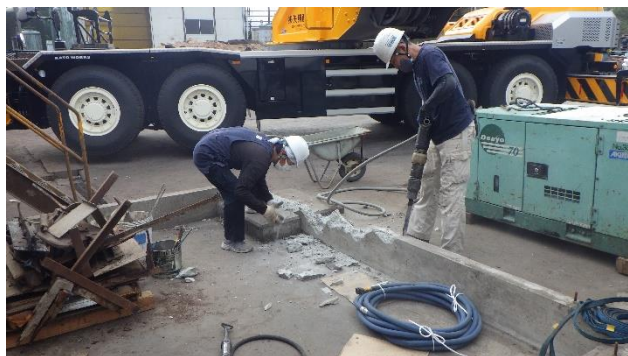
当社における環境関連法規への違反は過去三年間ありません。また、関係当局からの指摘は無く、訴訟もありませんでした。

【回転炉床式焼却炉改修工事】

平成3年に設置した、回転炉床式焼却炉の改修工事を実施しました。今までに、平成14年に施行されたダイオキシン類対策特別措置法に伴い排ガス処理対策を講じたり、平成27年にはバグフィルターを設置し、排ガスの高度処理を行って環境対策をしてきました。しかし、経年劣化が激しくなり自社での定期メンテナンスだけでは維持管理が難しくなってきましたので、設置以来はじめての大掛かりな改修工事を実施しました。



改修工事前の回転炉床式焼却炉



解体作業の様子



解体作業の様子

- 回転炉床式焼却炉操作室を解体して新しい操作室に操作盤を移設しました。



解体作業の様子



設置作業の様子

- A重油タンクー基を廃止して撤去しました。
- 腐食老朽の激しい煙突を更新しました。

【回転炉床式焼却炉改修工事】



設置作業の様子



設置作業の様子



改修工事完了後の回転炉床式焼却炉

最初はトラブル等ありましたが、トラブルがおきないように運転・管理していきます。

森中主任

更新して1ヶ月くらいは小さなトラブルが続き、まともに運転できず処理が進まないことであせりもありましたが、今は安定し始めています。

今後は、この状態を保ちつつ在庫になっている廃プラ、感染性廃棄物の処理を進めていき、通常の運転状態までもっていくのが先決であり希望です。頑張ります。

藤井主任

【改修工事を終えて本社工場の声】

今回の更新工事は全てが初めての経験で、始まる前から工事中の廃棄物の保管場所確保や、搬入量の調整、工事期間中は工期を短くするために本社作業員も工事に加わり、通常業務と工事業務と合わせて行うことで、頭と体力を使う日が続きました。

従来の焼却炉は長い年月の中でカンサイの処理工程にあったものに变化していたのですが、完成した焼却炉は予想していた通り、その変化に合っていない所など、トラブルが毎日のように続き苦戦しました。

その間処理スピードが全く上がらず、精神的にも体力的にもきつい毎日でしたが、11月半ばにようやく落ち着くところまで持ってくることができました。ここまで様々な問題を乗り越えてこられたのは、工場のみんなが本当に頑張ってくれ、協力があってのことで感謝しています。

工場みんなの技術・スキルは日々上がっていて、完成した焼却炉の耐用年数も長くなると思います。その中で、今後新しく入ってくる工場従業員の為にも適正に管理運営していきたいと思っています。

飯田次長

本社工場には回転炉床と呼ばれる焼却炉があり、炉内の床が回転しながら廃棄物を焼却処分します。

以前は老朽化のため運転を中断することもあり、修理のために人員が必要なので、私は廃棄物の搬入に追われて苦労したこともありました。

工場は無災害の連続日数を2,000日間達成しましたが、これからも決められたルールを守り、安全に職務を遂行していきたいと思っています。

免田主任補佐

更新工事の間に溜まっている廃プラや感染性廃棄物を少しでも早く処理し、今は負担が大きいですが、その割合を軽くしていきたいです。

宮森

(1) 地域住民見学会

【地域住民見学会】

- コロナ禍で中断していました地域住民見学会を3年ぶりに開催しました。

地域住民見学会の様子



【地域住民の声】

- 引き続き良好な環境保全に努めていただく様をお願いします。
- 最近では豪雨が頻繁にありますので、雨水管理には気を付けて下さい。
- 場内の清掃が行き届いておりびっくりしました。
- 猪やカラス対策もされていて驚きました。
- 見学会が始まった当初より格段に良くなっていますので、今後ともしっかり管理してください。

(2) 会報への寄稿

【環境NPO法人への寄稿】

- 顧問を務めてもらっています、NPO法人環境文明21へ「企業で人を育てることの意義」というテーマで弊社の取り組みを寄稿し、会員の方々に情報発信をしました。会報を読まれ弊社の取り組みに関心を示された企業様から、取り組み内容や取り組みに対して大切にしていることなどを教えてほしいと取材を受けることもありました。

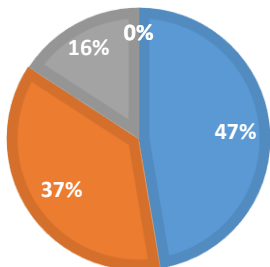


(3) 社員インタビュー

【入社10年未満の社員にインタビューしました】

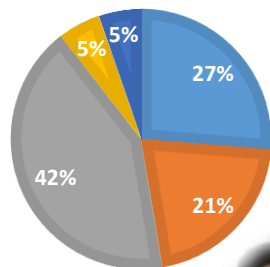
仕事にやりがいを感じますか？

■思う ■やや思う ■どちらともいえない ■あまり思わない ■思わない



社員教育などの制度が充実している

■思う ■やや思う ■どちらともいえない ■あまり思わない ■思わない



感想

【仕事にやりがいを感じますか？】

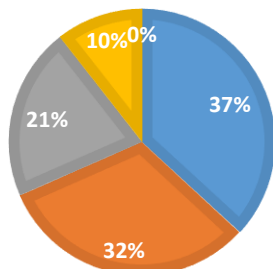
- 日々新しい現場に行くので、色々な経験ができ、自身に足りないところ強みも分かるのでとてもやりがいを感じる。



業務部 田中主任

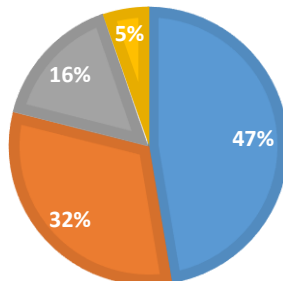
スキル・能力が身につく仕事環境である

■思う ■やや思う ■どちらともいえない ■あまり思わない ■思わない



仕事に集中しやすい職場環境である

■思う ■やや思う ■どちらともいえない ■あまり思わない ■思わない



感想

【スキル・能力が身につく仕事環境である】

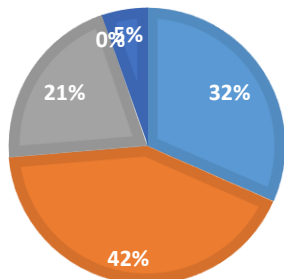
- 資格取得に対して会社からのバックアップがあり、特殊車両の操作や維持管理などスキルアップができる。



業務部 岡本主任

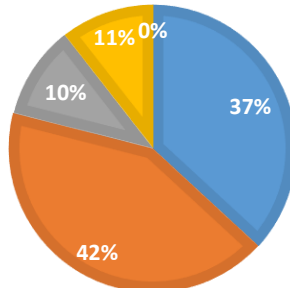
社内の人間関係は良好である

■思う ■やや思う ■どちらともいえない ■あまり思わない ■思わない



仕事と私生活のバランスが保たれている

■思う ■やや思う ■どちらともいえない ■あまり思わない ■思わない



感想

【仕事と私生活のバランスが保たれている】

- 休みの希望をある程度聞いて頂け、家族との時間が取れるようになっている。



業務部 原田主任

スーパーカイド

【肥料について】

- 倉橋工場では、下水処理場やし尿処理場において生活排水を浄化する際に発生する廃棄物である汚泥を受け入れ、好氣的に発酵処理し、肥料「スーパーカイド」へとリサイクルしています。
- 「スーパーカイド」の特徴としては、葉や茎の生長に欠かせない窒素と、開花・結実、根の伸長に役立つリン酸を豊富に含んでおり、野菜、果樹、稲作、花卉、芝生、植木などに幅広くご使用いただけます。十分に発酵処理していますので、未熟堆肥のような生育障害の心配がなく、元肥にも追肥にも利用できます。農産物だけでなく肥料も地産地消していただけるように、地元の方々へアピールしていきたいと思います。
- 下の写真は、リサイクル肥料カイドを使用して家庭菜園やガーデニングを楽しんでいる社員たちの花壇や畑の様子です。

肥料お求めはこちらまで・・・

TEL：(082) 941-1641

TEL：(0823) 53-1823

カンサイ総務部
カンサイ倉橋工場

12 つくる責任
つかう責任

12 つくる責任つかう責任

【倉橋工場の取組み】

- 倉橋工場では、下水汚泥を発酵させ環境にやさしい堆肥を製造し個人や農園で使用してもらい農作物生産の手助けをしています。



下水汚泥の混合



発酵状態



※仕事をするうえで、「健康経営」をテーマに抱負を掲げ進捗状況を確認して、各自の成長に向けた取り組みをしていきます。

※56期も引き続き、オンラインで環境力道場を開催して、これまでの取り組みの検証と、全社員のレベルアップと共通認識を図ることに重点を置いた社員教育に取り組みます。

※セクハラ・パワハラの撲滅に取り組みます。

	目標	活動内容	実施時期	該当部門
重点取り組み	個人の成長と健康経営	数値目標を掲げて取り組む	通年	全社員
		カンサイ理念手帳を浸透させる		
	ハラスメントの撲滅	相談窓口の運用	通年	全社員

環境	(1) 回転炉床・ロータリーキルンの重油使用量の削減 回転炉床電力使用量の削減	管理体制の強化、随時改善する プラント運転管理者の技術の向上	通年	本社工場
	(2) 業務車両・建設工事のガソリン・軽油使用量の削減	ドライブレコーダーの運用 管理体制の強化	通年	業務部
	(3) 営業車両のガソリン使用量の削減	エコ運転の教育・徹底	通年	営業部
	(4) 重機の軽油使用量の削減 電力使用量の削減	点検マニュアルの改善 管理体制の強化	通年	倉橋工場
	(5) 事務所電力使用量の削減	こまめな節電	通年	総務部
	(6) 燃え殻・汚泥・肥料・排水維持管理	分析及び各部署への伝達	通年	環境計量室
	(7) グリーン購入率の向上	エコ商品購入品の推奨と管理	通年	総務部
環境改善	(1) ムリ・ムダ・ムラの排除	仕事内容の精査と見直し	通年	全社員
	(2) 場内全域の環境対策	鳥獣被害防止対策・飛散防止対策	通年	本社工場
	(3) 施設の改善	設備更新の実施 作業環境と効率アップの設備配置の検討	通年	本社工場 倉橋工場
	(4) 在庫管理の強化	搬入物の管理による処理計画と実施	通年	本社工場 倉橋工場
	(5) 各環境測定の実施	ダイオキシン測定ほか	通年	本社工場
	(6) 交通事故防止	事故事例の再検証と啓発活動	通年	業務部
コミュニケーション	(1) ステークホルダーからの要望への対応	お客様の要望・意見・提案を回覧と共有	通年	全部署
	(2) 社員とのつながり	毎月誕生月の人をお祝いする 永年勤続者の表彰	通年	総務部
	(3) 家族とのつながり	社内報の内容を充実させる 家族見学会の企画・実施	年2回 6月	営業部 総務部
	(4) ステークホルダーとのつながりの拡充	地域清掃活動への参加	通年	営業部
	(5) 見学者の受け入れ拡充	部署間での事前協議	通年	営業部
	(6) 福利厚生拡充	社内サークルの運営	通年	実行委員
	(7) 積極的な情報公開	ホームページの充実	通年	総務部
教育	(1) 自社活動内容の理解度向上	年1回全体教育の実施	5月	EA21事務局
	(2) 資格取得へのチャレンジ	リストアップと計画取得	通年	全部署
	(3) 知識の向上	随時各講習会、講義の参加	通年	全部署
	(4) 緊急事態（自然災害）への対応	自然災害へのリスク調査（中期計画） 火災訓練等の実施	通年	全部署
安全衛生	(1) 1年間無事故無災害	指差し確認の徹底と啓発	通年	本社工場 倉橋工場 業務部
	(2) 交通事故の防止	事故事例の再検証	通年	業務部
	(3) 飲酒運転禁止	アルコールチェッカーの運用（基準値0mg）	通年	業務部
	(4) 5S活動の推進 （整理・整頓・清掃・清潔・躰）	一仕事一付けの推進 毎週金曜日の清掃活動	通年	全部署
	(5) 安全衛生協議	月次報告会の運用	月/1回	EA21事務局
情報公開	(1) 廃棄物処理法の遵守	収集運搬業、処分業の許可更新	通年	全部署
	(2) 関連法規の遵守	関連書類の提出と保管	通年	全部署
	(3) 環境活動レポートの発行	11月初旬に55期版を発行	9～10月	EA21推進メンバー

作成日 2022年9月15日

今年もコロナ禍が続く中、ウクライナの戦乱とそれに伴う食料・エネルギー価格の上昇、さらに急激な円高も加わり、人々の暮らしやビジネスにも様々な影響が出ています。そうした中、(株)カンサイの会社経営や社員の生活にも、それなりの影響が出ているのではないかと推察しますが、川本義二社長以下、社員全員の一丸となった努力により、カンサイの環境経営は少しの揺るぎもなく、むしろ前年より着実に前進していることが、このレポートからも読み取れ、心強く感じています。

環境に関する取り組みについては、これまでの取り組みの成果で大幅な削減が難しくなりつつある中であっても、各部署で知恵を絞り、少しでも燃料・電気・水・化学物質などの使用量を減らそうと努力している様子が伺えます。特に、各担当者のコメントには苦労した点や今後に向けた決意なども書かれており、現場の状況を伝える発信力が向上したように思います。併せて、カンサイという会社全体で連携して、脱炭素をはじめ、環境負荷の削減に向けて努めている様子もよくわかります。

具体的には、工場では焼却炉改修工事に伴いCO₂排出量が増加しましたが、日々の工夫で水の使用量を削減し、セメントの種類を変えるなどして増加分をカバー。加えて営業や業務、倉橋工場では車両整備、走行距離などの工夫、総務ではより節電に取り組むなどして、カンサイ全体のCO₂削減に向けた取り組みが見られます。また各部署での環境改善も着実に進んでおり、それによって働くことへ意欲を高める効果も出ているようですし、以前より課題の多かった部署内・部署間・社内全体のコミュニケーションも、「環境力道場」や各部署での話し合いにより少しずつ改善されているように思えます。

さらに、地域住民見学会の再開や社員インタビューといった新たな取り組みも加わるなど、カンサイ理念手帳にある「OURカンパニー」へと進化していることが伺えます。カンサイの環境レポートを拝見するようになって、9年が経過しますが、今年のレポートはこれまで以上に充実した内容になり、読み応えのあるものになっていると感じます。

一方、今年も昨年同様、A重油使用については目標達成には至りませんでした。これについてはカンサイだけの問題ではなく、革新的な技術開発を待つほかないように思えますが、温度管理などの日々の工夫により少しでも使用量削減につなげてほしいと思います。また環境創造総合企業についての議論も少しずつ進んでおり、産業廃棄物処理を主軸にしつつ、「人と人、人と自然との調和のとれた会社」を目指すという方向性も少しずつ見えてきているようですが、皆で議論を重ね、より具体的な計画につなげていくことが次なる課題です。

脱炭素そして資源循環は世界共通の目標であり、この先数十年はこの流れが企業活動の主流となるでしょう。カンサイにも各々の目標をより具体的に実現していくことが求められますが、これまでの経験と工夫に裏付けされた環境経営を土台に、よりそれを深化させ、「全従業員の物心両面の幸せの追求と人類と自然の調和を大切にする」環境創造総合企業へと、着実に歩みを進めてほしいと期待しています。



2022年10月

環境文明研究所 加藤三郎、藤村コノエ

55期は焼却炉の更新工事からのスタートでしたが、無事故で終えることが出来ました。全従業員と取引関係者の皆様に心から感謝申し上げます。搬入出の調整、機械の解体と設置、電力・給排水の更新等、色々と大変だったと思います。この経験は、これからの予防保全と維持管理に生かされ、従業員と会社の成長・発展につながるものと信じています。

これからも社内はもとより、お客様やお取引先の皆様とのコミュニケーションを大切にして、魅力を感じていただける会社にしていきたいと思います。

株式会社 カンサイ

代表取締役 川本 義二

17 編集後記

地球温暖化の影響が顕著になり、毎年のようにどこかで猛暑や豪雨災害が起きます。また、コロナ感染症、ウクライナ危機、円安と目まぐるしく世の中は変化しています。それらの出来事の中で、多くの尊い命が失われていることを忘れてはいけないと思います。

毎年、このレポートを作るにあたって一年を振り返り気づかされることが多くあります。弊社の取り組みに関しても、CO₂削減の難しさや手詰まり感を実感しています。しかしその一方で、社員間のコミュニケーションが良くなって社内の雰囲気は穏やかになったことも感じます。

地球温暖化も戦争も、私たち人間が起こしていることです。ひとりひとりが他者に思いやりの心をもっていれば解決できる問題ではないでしょうか？弊社の経営理念にもある「調和」という言葉を皆で共有して、今後の取り組みに活かしていければと思います。

環境管理責任者
北川 貴伸

株式会社カンサイは、
環境創造総合企業を目指しています



K Δ N S Δ I

株式会社 カンサイ

住 所 〒731-5102
広島市佐伯区五日市町大字石内
460番地

連 絡 先 TEL:(082)941-1641
FAX:(082)941-1715
E-mail:kansai@ekansai.co.jp

発行責任者 環境管理責任者・北川
エコアクション21事務局・山田